

## 2 和歌山県の外来種リスト

## (1) 哺乳類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	変容	繁殖	気候
1	霊長目	タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i> Swinhoe, 1863	防除対策 外来種	消滅・根絶	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	◎	-	○	○	○
2	食肉目	チョウセンイタチ(シベリアイ タチ)	<i>Mustela sibirica</i> Pallas, 1773	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	○	-	◎	○
3	食肉目	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i> (Smith, 1827)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	-	-	○	-	◎	○
4	食肉目	アライグマ	<i>Procyon lotor</i> (Linnaeus, 1758)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	○	-	◎	-	◎	○
5	偶蹄目	タイワンジカ(交雑種)	<i>Cervus nippon taiouanus</i> Blyth, 1860	防除対策 外来種	定着初期/ 限定分布			◎	◎	◎	○	◎	○
6	齧歯目	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosciurus erythraeus</i> (Pallas, 1779)	防除対策 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	○	-	○	◎	◎	○
7	齧歯目	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i> (Molina, 1782)		定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	-	-	-	-	-	○

## (2) 鳥類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	変容	繁殖	気候
1	キジ目	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i> (Temminck, 1815)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
2	カモ目	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i> (Gmelin, 1789)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	-	-	-	-
3	カモ目	コクチョウ	<i>Cygnus atratus</i> (Latham, 1790)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
4	ハト目	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i> (Gmelin, 1789)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
5	スズメ目	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i> (Scopoli, 1786)		分布拡大～ まん延	特定外来 生物	重点対策 外来種	○	-	-	-	○	○

## (3) 爬虫類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	変容	繁殖	気候
1	カメ目	ミシシippアカミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i> (Wied-Neuwied, 1839)	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		緊急対策 外来種	◎	-	○	-	◎	◎
2	カメ目	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i> (Linnaeus, 1758)	防除対策 外来種	定着初期～ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	○	-	◎	-	◎	◎
3	カメ目	ワニガメ	<i>Macrochelys temminckii</i> (Troost, 1835)	重点啓発 外来種	定着初期～ 限定分布		その他の 定着予防 外来種	○	-	◎	-	○	◎
4	トカゲ目	ミナミヤモリ	<i>Gekko hokouensis</i> (Pope, 1928)		定着初期～ 限定分布			○	-	○	-	○	○

## (4) 両生類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	変容	繁殖	気候
1	サンショウ ウオ目	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i> (Temminck, 1836)		定着初期～ 限定分布			-	-	○	-	○	○
2	カエル目	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i> (Shaw, 1802)	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延	特定外来 生物	重点対策 外来種	◎	-	◎	-	○	○
3	カエル目	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i> (Daudin, 1802)	重点啓発 外来種	定着初期～ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	◎	-	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	○	-	○	-	台湾	和歌山市、海南市	里地里山	1959年頃、閉園した動物園から逸出し野生化。ニホンザルとの交雑による遺伝子汚染、農業被害等が発生。2002年度より捕獲を始め、2017年12月に根絶宣言(和歌山県)。
○	-	○	○	-	○	-	朝鮮半島	記録上日置川下流域以北	市街地、住宅地、農耕地	国内では対馬のみに自然分布していたが、1930～45年頃に西日本で毛皮利用のため移入された。県内での経緯は不明。
○	-	○	-	-	○	-	ヒマラヤ、中国南部、台湾、ボルネオ	県内全域	果樹園、里地里山、森林	2009年かつらぎ町洗田で、2012年白浜町十九瀬で確認。捕獲等の事例は少ないが山間部まで幅広く分布。
◎	○	◎	-	-	○	-	北米～中米	県内全域	市街地、住宅地、里地里山、森林	2003年市町村アンケート調査(和歌山県)によると、1990年代初頭に生息情報があり分布は限定的であった。しかし、その後爆発的に増加し現在ほぼ県内全域に分布を広げている。
◎	-	○	○	-	○	-	台湾	和歌山市(友ヶ島)	森林、草原、湿地	友ヶ島(沖ノ島)へは、1955年に10頭(伊豆大島の繁殖個体)を観光目的で移入。2016年7月大阪府泉南郡岬町で在来ニホンザルとの交雑種捕獲。友ヶ島のシカは、遺伝子分析により、タイフンカに加え、アカシカ、タイフンカンバーの遺伝的特徴が検出されており、沖ノ島に導入されたシカ個体群は台湾の養鹿施設に由来している可能性を示唆。
◎	-	○	○	-	○	-	台湾、中国南部、インド東部、ミャンマー	和歌山市(友ヶ島、和歌山城、秋葉山、雑賀崎)	常緑広葉樹林、市街地	1954年12月に伊豆大島から友ヶ島(沖ノ島)に100頭移入し、檻内で飼育したが80頭が逃走し野生化。
-	-	-	-	-	○	-	南米中南部	和歌山市	河川・湖沼	2009年8月和歌山市福島で確認。

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	中国南部	県内全市町村	森林、里地	1919年以降、全国各地で放鳥された。県内に侵入した時期は不明。県内各地で繁殖している。
-	-	-	-	-	○	-	ユーラシア大陸	紀の川、有田川、広川、すさみ湾で記録されている	湖沼、内湾	国内に野生化した個体群があり、そこから移動してきた個体が確認される。代表的な繁殖地はウトナイ湖で、越冬地は霞ヶ浦。2005年から2010年まで、ガンカモ調査によつてすさみ湾で確認されている。
-	-	-	-	-	○	-	オーストラリア	2019年1月現在、紀の川市貴志川町の平地で生息している	湖沼、内湾	国内に野生化した個体群があり、そこから移動してきた個体が確認される。代表的な繁殖地は干波湖(茨城県)。2017年11月に紀の川市貴志川町の平地で確認され、2019年1月現在も生息している。
-	-	○	-	-	○	-	ユーラシア大陸、アフリカ北部	県内全市町村	市街地、農耕地	県内各地の市街地や農耕地で、多数繁殖している。
○	-	-	-	-	○	-	中国南部～ベトナム北部～ミャンマー北部	県内の山地帯全域	森林(特に落葉広葉樹林帯)	1990年頃から県内で確認されるようになり、落葉広葉樹林帯で多数繁殖するようになった。2000年代後半より、シカの食害のためササ類などの下草が減少するとともに、個体数も減少している。

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
○	-	○	◎	-	○	-	北米	県内全市町村	河川や湖沼、水田、水路、湿原	和歌山県内の全市町村の水辺に生息する。飼育個体の放棄や産卵時の卵数が多いことから分布のさらなる拡大が懸念される。
-	◎	-	-	-	○	-	北米～中米	紀北地域	河川や湖沼、水田、水路、湿原	紀北地域の各市町村での捕獲記録がある。他府県での定着記録などから和歌山県においても分布の拡大が懸念される。
-	◎	-	-	-	○	-	北米	紀北地域	河川や湖沼、水路、湿原	紀北地域で捕獲記録がみられる。大形で凶暴なため咬傷など人的被害が懸念される。
○	-	-	-	○	○	○	九州南部、沖縄諸島、台湾、中国東部	有田市内	海岸の崖地	日本では九州南部に自然分布するが、神奈川、静岡、八丈島、和歌山、三重県は、移入分布とされている。

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
○	-	-	-	-	-	○	兵庫県、岡山県ほか	古座川町	河川	特別天然記念物。和歌山県では、かつて伊都郡高野町大滝の谷川で生息していたが、1953年の大水害時にその谷川は埋没した。現在、平井川(古座川支流)で生息する本種は、1962年に兵庫県生野町から移入したものである。
○	-	-	-	-	○	-	北米	県内全市町村	池沼などの止水域	1918年にアメリカから移入して以来、野外で繁殖している。分布は全国に及ぶ。
◎	-	-	○	-	○	-	アフリカ中南部	田辺市、白浜町	池沼などの止水域	田辺市新庄町鳥ノ巢のため池(複数)に誰かが放流したと思われる。2007年に発見され、現在、白浜町を含め30ヶ所ほどの池で繁殖している。なお、本種の学名は、 <i>Xenopus laevis</i> (Daudin, 1802) としているが、約1800万年前に2つの種が異種交配と全ゲノム重複を起こして誕生した異質四倍体であることが知られている。

## (5) 魚類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
1	ヤツメウナギ目	スナヤツメ(南方種)	<i>Lethenteron</i> sp. S.		定着初期/ 限定分布			○	◎	-	-	-	-
2	ヤツメウナギ目	スナヤツメ(北方種)	<i>Lethenteron</i> sp. N.		定着初期/ 限定分布			○	◎	-	-	-	-
3	ポリプテルス目	ポリプテルス属の1種	<i>Polypterus</i> sp.		消滅・根絶			○	-	○	-	-	-
4	ガー目	アリゲーターガー	<i>Atractosteus spatula</i> (Lacépède, 1803)		定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	その他の 定着予防 外来種	○	-	◎	-	-	-
5	ガー目	スポッテットガー	<i>Lepisosteus oculatus</i> Winchell, 1864		消滅・根絶	特定外来 生物	その他の 定着予防 外来種	○	-	◎	-	-	-
6	ウナギ目	ヨーロッパウナギ	<i>Anguilla anguilla</i> (Linnaeus, 1758)		定着初期/ 限定分布			◎	-	◎	-	-	-
7	コイ目	コイ(ヤマトコイ・ニシキゴイ)	<i>Cyprinus carpio</i> Linnaeus, 1758	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延			◎	◎	◎	◎	◎	◎
8	コイ目	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i> Temminck and Schlegel, 1846	産業利用 外来種	分布拡大~ まん延			○	○	-	-	◎	◎
9	コイ目	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i> (Temminck and Schlegel, 1846)		定着初期/ 限定分布			○	◎	-	-	○	○
10	コイ目	ニッポンバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus</i> <i>kurumeus</i> Jordan and Thompson, 1914		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	-
11	コイ目	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i> (Kner, 1866)		分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	○	-	-	◎	◎
12	コイ目	ハス	<i>Opsariichthys uncirostris</i> <i>uncirostris</i> (Temminck and Schlegel, 1846)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	◎	-	○	○
13	コイ目	オイカフ	<i>Opsariichthys platypus</i> (Temminck and Schlegel, 1846)		分布拡大~ まん延			◎	◎	-	-	◎	◎
14	コイ目	ワタカ	<i>Ischikauia steenackeri</i> (Sauvage, 1883)		消滅・根絶			-	-	-	-	○	○
15	コイ目	ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i> (Valenciennes, 1844)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	○	○	-	○
16	コイ目	カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypripis</i> <i>neglectus</i> (Stieler, 1907)		定着初期~ 限定分布			-	-	-	-	○	-
17	コイ目	ホンモロコ	<i>Gnathopogon caeruleus</i> (Sauvage, 1883)		消滅・根絶			○	-	-	-	-	-
18	コイ目	ゼゼラ	<i>Bivia zezera</i> (Ishikawa, 1895)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	○
19	コイ目	ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i> (Basilewsky, 1855)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	○
20	コイ目	ズナガニゴイ	<i>Hemibarbus longirostris</i> (Regan, 1908)	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布			○	-	◎	-	○	○
21	コイ目	カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys</i> <i>variegatus variegatus</i> (Temminck and Schlegel, 1846)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	○
22	コイ目	ピフヒガイ	<i>Sarcocheilichthys</i> <i>variegatus microoculus</i> Mori, 1927		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	○
23	コイ目	コッピー(アカヒレ)	<i>Tanichthys albonubes</i> Lin, 1932		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	○	-	-	-
24	コイ目	カラドジョウ	<i>Misgurnus dabryanus</i> (Dabry de Thiersant, 1872)		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	◎	-	-	◎	◎
25	コイ目	オオガタスジシマドジョウ	<i>Cibitis magnostrata</i> Nakajima, 2012		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	○	-	○	国内	県内北部	河川	放流アユに混入(私信)。
-	-	-	-	○	-	○	国内	古座川町	河川	古座川で記録有り。
-	-	○	-	-	○	-	アフリカ大陸	紀の川市	河川・湖沼	紀の川水系で死体拾得記録有り。
-	○	○	-	-	○	-	北米	和歌山市	河川・湖沼	紀の川水系および和歌山市六十谷のため池で複数個体捕獲されている。
-	○	○	-	-	○	-	北米	みなべ町	河川・湖沼	みなべ町のダム湖で捕獲。
○	-	○	-	○	○	-	欧州	古座川町	河川・湖沼	七川ダムで記録がある。義務放流による種苗の混入が原因と考えられる。
◎	-	◎	◎	-	○	-	中国大陸	県内全域	河川・湖沼	在来種のコイ類の県内分布状況は不明。
○	-	◎	◎	-	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内全域	河川・湖沼	遊漁の対象種として各地に放流。ギンブナ等との交雑も心配される。
-	-	-	-	-	-	○	国内	県内北部	淡水域、河川、農業水路	もともと紀の川流域に生息する事が知られているが遺伝子解析の結果、九州産の個体が侵入している地域があり、在来個体群との交雑による遺伝子汚染が懸念される。
-	-	-	-	-	-	○	国内	県内北部	淡水域、溜池	現在の生息環境が非常に限定的かつ本来生息するような環境でないことから、人為的な影響が考えられるため移入個体群とした。
-	-	-	◎	○	○	-	朝鮮半島、中国、台湾	県内全域	淡水域、河川、農業水路、溜池	イシガイ科二枚貝に産卵し、一度に多量の卵を産む事が出来るため繁殖力が強く、また、在来のタナゴ類との競合が懸念される。
○	-	○	-	○	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内全域	淡水域、河川	日本産コイ科魚類の中で唯一の肉食性であり、在来淡水魚の捕食が懸念される。琵琶湖産アユに混ざって放流された可能性が高い。
◎	-	-	-	○	-	○	国内	県内全域	淡水域、河川、湖沼、溜池	琵琶湖淀川水系の淡水生物が多い地域に従来から本種が生息していたか不明であるが、現在は広く県内に分布しており、その多くは琵琶湖産アユに混ざって放流された可能性が高い。
-	-	-	-	○	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内北部	淡水域、河川、湖沼	紀北地域あるいは大型河川にのみ見られることから、琵琶湖産アユに混ざって放流された可能性が高い
-	-	○	○	-	○	-	中国	県内北部	淡水域、河川、溜池	大型河川の周辺にみられる。ゴルフ場内の池の藻類除去に移入される。
-	-	-	-	-	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内北部	淡水域、河川、溜池	確認数、確認地域が非常に限定的であるため、移入と考える。
-	-	○	○	-	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内北部	淡水域、河川、湖沼	養殖魚として、琵琶湖から紀北地域のため池に導入された経緯もあり、移入種と考える。
-	-	-	○	○	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内北部	淡水域、河川	紀北地域あるいは大型河川にのみ見られることから、琵琶湖産アユに混ざって放流された可能性が高い。
-	-	-	○	○	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内北部	淡水域、河川	紀北地域あるいは大型河川にのみ見られることから、琵琶湖産アユに混ざって放流された可能性が高い。
-	-	-	-	○	-	○	国内	県内中部	淡水域、河川	従来は広川町の広川以北で見られる種であるが、広川以南の、アユの放流を行っている河川で見られることから移入と考える。
-	-	-	-	○	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内北部	淡水域、河川	琵琶湖産アユに混ざって放流された可能性が高い。
-	-	-	-	○	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内北部、南部	淡水域、河川	県内では熊野川で2006、2011年と記録があり、定着している可能性がある。
-	-	-	◎	○	○	-	中国南部、ベトナム北部	和歌山市	淡水域、水路	2017年に和歌山市の水路で1個体が確認された。繁殖、越冬していないと思われるが不明。
-	-	○	◎	◎	○	-	中国、朝鮮半島	県内全域	淡水域、河川、農業水路	在来のドジョウとの交雑、ニッチが重なるため生息地の競合が懸念される。觀賞用、魚の餌として流通しており、今後も分布を広げる可能性がある。
-	-	-	-	○	-	○	国内	県内南部	淡水域、河川	琵琶湖産アユに混ざって放流された可能性が高い。未確認だがチュウガタスジシマドジョウも侵入しているとの情報がある。県北部の個体群は在来。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	変容	繁殖	気候
26	ナマズ目	ギギ	<i>Pelteobagrus nudiceps</i> (Sauvage, 1883)		定着初期/ 限定分布			○	-	◎	-	◎	○
27	ナマズ目	コリドラス属	<i>Corydoras</i> spp.		消滅・根絶			○	-	-	-	-	-
28	ナマズ目	レッドテールキャットフィッシュ	<i>Phractocephalus hemiopterus</i> (Bloch and Schneider, 1801)		定着初期/ 限定分布			○	-	◎	-	○	◎
29	ナマズ目	マダラロリカリア	<i>Pterygoplichthys disjunctivus</i> (Weber, 1991)		消滅・根絶		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	-	-	-
30	カラシン目	ピラニア・ナッテリ	<i>Pygocentrus nattereri</i> Kner, 1858		消滅・根絶			○	-	○	-	-	-
31	キュウリウオ目	ワカサギ	<i>Hypomesus nipponensis</i> McAllister, 1963		消滅・根絶			○	-	-	○	◎	-
32	キュウリウオ目	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i> (Temminck and Schlegel, 1846)	産業利用 外来種	分布拡大～ まん延			◎	◎	○	○	○	-
33	サケ目	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i> (Walbaum, 1792)		消滅・根絶		産業管理 外来種	◎	-	◎	○	-	-
34	サケ目	ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i> Linnaeus, 1758		消滅・根絶		産業管理 外来種	◎	-	◎	○	-	-
35	サケ目	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i> (Hilgendorf, 1876)	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布			◎	◎	◎	○	○	-
36	サケ目	サツキマス(アマゴ)	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i> Jordan and McGregor, 1925	産業利用 外来種	定着初期/ 限定分布			◎	◎	◎	○	○	-
37	タウナギ目	タウナギ	<i>Monopterus albus</i> (Zuiew, 1793)		分布拡大～ まん延			○	-	◎	-	◎	◎
38	トゲウオ目	トミヨ	<i>Pungitius</i> sp.		消滅・根絶			○	-	○	○	-	-
39	カダヤシ目	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i> (Baird and Girard, 1853)	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延	特定外来 生物	重点対策 外来種	◎	-	◎	○	◎	-
40	カダヤシ目	グッピー	<i>Poecilia reticulata</i> Peters, 1859	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	◎	○	◎	-
41	カダヤシ目	サザンプラティフィッシュ	<i>Xiphophorus maculatus</i> (Günther, 1866)		定着初期/ 限定分布			◎	-	○	-	○	-
42	ダツ目	ミナミメダカ(ヒメダカ等人工 品種)	<i>Oryzias latipes</i> (Temminck and Schlegel, 1846)		定着初期/ 限定分布			◎	◎	-	-	○	-
43	スズキ目	オヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i> (Temminck and Schlegel, 1843)	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	◎	-	◎	-
44	スズキ目	タイリクスズキ	<i>Lateolabrax</i> sp.		定着初期/ 限定分布			○	○	-	-	-	-
45	スズキ目	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i> Rafinesque, 1819	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	◎	-	◎	◎
46	スズキ目	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i> (Lacépède, 1802)	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	○	◎	-	◎	◎
47	スズキ目	フロリダバス	<i>Micropterus floridanus</i> (Lesueur, 1822)	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布	未判定外 来生物		◎	○	◎	-	-	-
48	スズキ目	コクチバス	<i>Micropterus dolomieu dolomieu</i> Lacépède, 1802	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	◎	-	-	-
49	スズキ目	カワスズメ	<i>Oreochromis massambicus</i> (Peters, 1852)		消滅・根絶		その他の 総合対策 外来種	◎	-	◎	-	◎	◎
50	スズキ目	アストロノータス	<i>Astronotus ocellatus</i> (Agassiz, 1831)		消滅・根絶			○	-	○	-	-	-

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	○	-	-	○	国内	県内中、南部	淡水域、河川、ダム湖	紀北地域には在来群があるが、紀南地域のダム湖(日置川水系)から確認されており定着、繁殖のおそれがある。
-	-	○	-	-	○	-	南米	和歌山市	河川・湖沼	数種が水路等で目撃情報があったが、繁殖、定着はしていない。
-	-	◎	○	-	○	-	南米	県内北部	淡水域、河川、ダム湖	紀の川はじめ紀北地域の水域で見られたが、繁殖、定着していない。
-	-	○	-	-	○	-	南米	那智勝浦町	河川・湖沼	那智勝浦町ゆかし湖にて記録がある。
-	-	○	-	-	○	-	南米	和歌山市	淡水域、ため池	和歌山市内のため池で確認された。繁殖、定着はしていない。
○	-	○	◎	○	-	○	国内	県内中部のダム湖	淡水域、ダム湖	過去に日高川水系の橋本ダム等に放流記録があるが、現状は定着していない。
◎	-	○	◎	◎	-	○	国内	県内全域	淡水域、沿岸域、河川中、下流域	県内の水域に大量に放流されている。和歌山県の在来群も存在するが、区別できず交雑していると思われる。和歌山県の在来群は壊滅状態である。また、様々な生物、病原菌を持ち込んでいる。
○	-	◎	◎	-	○	-	北米	日高川水系、紀の川水系	淡水域、河川上流域、ダム湖	県内の水域に放流された記録があり、橋本市では近年まで放流が行われていた。繁殖、定着はしていない。魚病を持ち込むおそれがある。
○	-	◎	◎	-	○	-	ヨーロッパ	日高川、日置川水系	淡水域、河川上流域、ダム湖	県内のダム湖に放流された記録があるが繁殖、定着はしていない。
◎	-	◎	◎	-	-	○	東日本	日高川、日置川水系	淡水域、河川上流域	県内在来のキリクチ保名の名目で導入されたが、結果的に交雑して純粋なキリクチを絶滅に追いやった。
◎	-	◎	◎	○	-	○	本州および四国と九州の一部	県内全域	淡水域、河川上流域、ダム湖	県内の水域に放流されている。和歌山県の在来群も存在したが、ほとんど交雑してしまい、和歌山県の在来群は壊滅状態である。
-	-	○	○	-	○	-	東アジア	和歌山市・岩出市・海南市・有田市・かつらぎ町・有田川町	河川・湖沼	紀北地方の用水路等ではかなりまん延している。
-	-	-	-	◎	○	-	中国北部	海南市(加茂川水系)	淡水域、河川	紀北地域の水域で確認記録があるが、定着していない。
◎	-	○	◎	○	○	-	北米	県内全域	淡水域、河川、ため池、水路	県内の住宅地近くの淡水域に広く生息し、繁殖している。ミナメダカや小型魚類、水生昆虫と競争関係にある。
○	-	-	◎	○	○	-	北米	県内全域	淡水域、河川、ため池、水路	県北部の住宅地近くの淡水域に生息し、繁殖している。これまで越冬できないと考えられたが、近年越冬集団がみられる。ミナメダカや小型魚類、水生昆虫と競争関係にある。
-	-	-	◎	○	○	-	北米	有田市	淡水域、水路	有田市の水路で記録がある。繁殖、越冬していないと思われるが不明。
○	-	-	◎	○	-	○	南日本(ヒメダカ等は人工品種)	紀の川下流域、海南市、串本町	淡水域、河川	本来県内にはミナメダカが生息しており、東牟婁地域には遺伝的系統を異にする集団も認められているが、それ以外の人工品種が確認されているので、交雑のおそれが危惧される。
-	-	-	○	○	-	○	本州、九州、四国の一部	かつらぎ町(紀の川水系)	淡水域、河川	紀の川水系の支流である真国川で確認されたが、既に繁殖しており、駆除できないほどである。
○	-	◎	◎	-	○	-	中国大陸	串本町古座	河川・沿岸	1998年5月4日、古座川河口にて記録有り。また、大阪湾沿岸、紀伊水道沿岸でも確認されているが、その後拡大する様子はない。また、一時期合川ダムに放流されたとの情報もある。
-	-	○	○	-	○	-	北米	県内全域	河川・湖沼	県内各地の河川、湖沼で繁殖。
-	-	○	◎	-	○	-	北米	県内全域	河川・湖沼	県内各地の河川、湖沼で繁殖。遊漁の対象種として密放流が横行している。また、紀北地域の桜池(紀の川市)では、管理釣り場として本種を導入している。
-	-	○	◎	-	○	-	北米	北山村	河川・湖沼	七色ダムで記録がある。また、紀北地域の桜池(紀の川市)では、管理釣り場として本種を導入している。
-	-	◎	-	-	○	-	北米	橋本市、北山村	河川・湖沼	橋本市以賀尾池にて繁殖。かい掘り等で消滅。2018年に紀の川で採集されたとの情報があるが詳細は不明。九度山町でも確認情報あり。他に北山村のダム湖で生息が確認されている。
-	-	○	○	-	○	-	アフリカ大陸	紀の川市	河川・湖沼	紀の川市桃山町で記録があるが現在は確認できない。
-	-	○	-	-	○	-	南米	紀の川市	河川・湖沼	紀の川市貴志川町で記録がある。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	変化	繁殖	気候
51	スズキ目	カクレクマノミ	<i>Amphiprion ocellaris</i> (Lacépède, 1802)		消滅・根絶			○	-	○	-	○	-
52	スズキ目	セジロクマノミ	<i>Amphiprion sandaracinos</i> Allen, 1972		消滅・根絶			○	-	○	-	○	-
53	スズキ目	ヨコシマドンコ	<i>Micropercops swinhonis</i> (Günther, 1873)		消滅・根絶			◎	-	○	-	-	-
54	スズキ目	テチブ	<i>Tridentiger obscurus</i> (Temminck and Schlegel, 1845)		分布拡大～ まん延			◎	○	◎	-	◎	-
55	スズキ目	カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i> (Mizuno, 1960)		分布拡大～ まん延			◎	-	○	-	◎	-
56	スズキ目	ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius similis</i> Gill, 1859		分布拡大～ まん延			◎	-	○	-	◎	-
57	スズキ目	シマヒレヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. BF		分布拡大～ まん延			◎	-	○	-	◎	-
58	スズキ目	トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp.		分布拡大～ まん延			◎	◎	○	-	◎	-
59	スズキ目	タイワンキンギョ	<i>Macropodus opercularis</i> (Linnaeus, 1758)		消滅・根絶			○	-	○	-	○	-
60	スズキ目	タイワンドジョウ	<i>Channa maculata</i> (Lacépède, 1801)	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延			◎	-	◎	-	○	-
61	スズキ目	カムルチー	<i>Channa argus</i> (Cantor, 1842)	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延			◎	-	◎	-	○	-

(6) 昆虫類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	変化	繁殖	気候
1	シミ目	セイヨウシミ	<i>Lepisma saccharina</i> Linnaeus, 1758		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
2	ゴキブリ目	ワモンゴキブリ	<i>Periplaneta americana</i> (Linnaeus, 1758)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	-
3	ゴキブリ目	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i> (Serville, 1839)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	◎
4	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ	<i>Blattella germanica</i> (Linnaeus, 1767)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	◎	-
5	ゴキブリ目	サツマゴキブリ	<i>Opisthopteria orientalis</i> (Burmeister, 1838)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	◎	○
6	ゴキブリ目	アメリカカンザイシロアリ	<i>Incisitermes minor</i> Hagen, 1858	防除対策 外来種	定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	◎	-
7	ゴキブリ目	イエシロアリ	<i>Coptotermes formosanus</i> Shiraki, 1909	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	-
8	バッタ目	アオマツムシ	<i>Trujalia hibionis</i> (Matsumura, 1928)		分布拡大～ まん延			◎	-	-	-	◎	-
9	バッタ目	アカハネオンブバッタ	<i>Atractomorpha sinensis</i> Bolivar, 1905		定着初期/ 限定分布			◎	○	-	-	○	-
10	チャタテムシ目	コチャタテ	<i>Trogium pulsatorium</i> (Linnaeus, 1758)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	-
11	チャタテムシ目	ヒラタチャタテ	<i>Liposcelis bostrychophilus</i> Badonnel, 1931	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	-
12	アザミウマ目	クロトンアザミウマ	<i>Heliothrips haemorrhoidalis</i> (Bouche, 1833)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○



重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
○	-	-	◎	-	○	○	西太平洋	串本町	沿岸海域、サンゴ域、岩礁域	串本町の海岸で明らかに親魚を遺棄した状況で見つけられた、繁殖は確認できていない。
○	-	-	◎	-	○	○	西太平洋	串本町	沿岸海域、サンゴ域、岩礁域	串本町の海岸で明らかに親魚を遺棄した状況で見つけられた、繁殖は確認できていない。
○	-	-	-	○	○	-	中国北部	海南市(加茂川水系)	淡水域、河川	紀北地域の小河川に複数個体が確認されたが、繁殖は確認されず、現在は見られない。
○	-	-	-	○	-	○	本州、四国、九州	県内全域	淡水域、河川、ため池	アユ等の放流時混入種。 県内のダム湖、河川のアユやゲンゴロウナ等の放流実績のある水域に見られ、繁殖している。特にダム湖には陸封された個体群が見られる。河川には在来の個体群もあり、外来群との区別は困難。
◎	-	-	-	○	-	○	本州中部以西、四国、九州	主に田辺市以南の各水系	淡水域、河川、ため池	アユ等の放流時混入種。 紀北地域では在来種であったが、紀南地域のダム湖などのアユやゲンゴロウナ等の放流実績のある水域に見られ、繁殖している。
○	-	-	-	○	-	○	本州、四国、九州	県内全域	淡水域、河川、ため池	アユ等の放流時混入種。 県内のダム湖、河川のアユやゲンゴロウナ等の放流実績のある水域に見られ、繁殖している。特にダム湖には陸封された個体群が見られる。河川には在来の個体群もあり、外来群との区別は困難。
◎	-	-	-	○	-	○	近畿地方の太平洋側、四国中国地方の瀬戸内海側	県内の広川水系以南の各水系	淡水域、ため池	アユ等の放流に混入。 広川水系以北の個体群は在来種と考えるが、広川より南の止水環境の個体群は、外来種でありアユやゲンゴロウナ等の放流実績のある水域に見られ、繁殖している。
◎	-	-	-	○	-	○	主に琵琶湖・淀川水系	県内全域	淡水域、河川、ため池	アユ等の放流時混入種。 紀北地域あるいはダム湖などアユやゲンゴロウナ等の放流実績のある水域に見られ、繁殖している。オスの第1背鰭が伸長するタイプ。
-	-	-	○	-	○	-	中国	海南市(加茂川水系)	淡水域、河川、ため池	紀北地域の水域で確認記録があるが、定着していない。
○	○	○	○	-	○	-	中国南部	有田市以北	淡水域、河川、ため池	紀北地域ではカムルチーとの交雑が起こっている。また環境変化によって個体数自体は激減している。
○	○	○	○	-	○	-	中国南部	有田市以北	淡水域、河川、ため池	紀北地域ではタイフンドジョウとの交雑が起こっている。また環境変化によって個体数自体は激減している。

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	-	○	○	-	旧北区	全域	家屋内	衣類や食品の害虫。製本に使われる糊を食べるので、書籍にも被害を与える。
-	○	○	-	○	-	○	国内移入	白浜町、那智勝浦町	温泉街	温泉街のボイラーなどにより加温されているところに見られる。
-	○	◎	-	-	○	-	不明	全域	人家、里地、市街地	主に人家などの人間活動の場においてみられるが、里地の樹木など、屋外においても認められる。
-	○	○	-	-	○	-	アフリカ	都市部	家屋内	和歌山市や温泉街の飲食店に多い。地方町村には殆ど見られない。
○	-	-	-	○	-	○	国内移入	沿岸域	里地、森林	街路樹や園芸植物に付着して侵入したと思われる。
-	-	◎	-	-	○	-	北米	紀南地域	木造住宅、家財	1976年に日本で初めて発見され、1980年頃には和歌山県でも発見されている。
-	-	◎	-	-	○	-	東南アジア	全域	木造住宅	家屋木材を食害し、大害を与える。ヤマトシロアリよりも被害範囲が大きい。
○	-	-	-	-	○	-	中国	全域	里山、市街地	現在では自然度の高い森林にも進入している。
-	-	-	-	-	○	-	東南アジア～琉球	紀中・紀北の平野部	草地	在来のオンブバッタと競合し、駆逐する
-	○	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内	室内に生えたカビ類を食べるが、乾燥食品や動・植物標本を食害する。
-	○	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内	コチャタテと同様な被害を与える。
-	-	◎	-	○	○	-	南米	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	変異	繁殖	気候
13	アザミウマ 目	ミカンキイロアザミウマ	<i>Frankliniella occidentalis</i> (Pergande, 1895)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
14	アザミウマ 目	ハナアザミウマ	<i>Thrips hawaiiensis</i> (Morgan, 1913)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
15	アザミウマ 目	ミナミキイロアザミウマ	<i>Thrips palmi</i> Karny, 1925	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
16	アザミウマ 目	ネギアザミウマ	<i>Thrips tabaci</i> Lindeman, 1888	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
17	アザミウマ 目	カキクダアザミウマ	<i>Ponticlothrips diospyrosi</i> Haga et Okajima, 1983	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
18	カメムシ目	キマダラカメムシ	<i>Erthesina fullo</i> (Thunberg, 1783)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	-
19	カメムシ目	マツヘリカメムシ	<i>Leptoglossus occidentalis</i> Heidemann, 1910		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
20	カメムシ目	ヨコヅナサシガメ	<i>Agriosphdrus dohrni</i> (Signoret, 1862)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	-
21	カメムシ目	クスベニヒラタカスミカメ	<i>Mansoniella cinnamomi</i> (Zhen et Liu, 1992)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	◎	○
22	カメムシ目	オンシツコナジラミ	<i>Trialeurodes vaporariorum</i> (Westwood, 1856)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
23	カメムシ目	タバコナジラミ	<i>Bemisia tabaci</i> (Gennadius, 1889)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
24	カメムシ目	ミカントゲコナジラミ	<i>Aleurocanthus spiniferus</i> (Quaintance, 1903)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
25	カメムシ目	イセリアカイガラムシ	<i>Icerya purchasi</i> Maskell, 1878	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
26	カメムシ目	ミカンコナカイガラムシ	<i>Planococcus citri</i> (Risso, 1813)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
27	カメムシ目	ルビーロウムシ	<i>Ceroplastes rubens</i> Maskell, 1892	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
28	カメムシ目	ナガカタカイガラムシ	<i>Coccus longulus</i> (Douglas, 1887)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
29	カメムシ目	カメノコロウカタカイガラムシ	<i>Eucalymnatus tessellatus</i> (Signoret, 1873)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
30	カメムシ目	アカマルカイガラムシ	<i>Aonidiella aurantii</i> (Maskell, 1878)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
31	カメムシ目	ナシマルカイガラムシ	<i>Comstockaspis perniciososa</i> (Comstock, 1881)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
32	カメムシ目	ヤノネカイガラムシ	<i>Unaspis yanonensis</i> (Kuwana, 1923)	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
33	カメムシ目	ビウキジラミ	<i>Cacopsylla biwa</i> Inoue, 2014	防除対策 外来種	定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	◎	◎
34	カメムシ目	チャトゲコナジラミ	<i>Aleurocanthus camelliae</i> Kanmiya et Kasai, 2011	防除対策 外来種	分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
35	カメムシ目	トガリアメンボ	<i>Rhagadotarsus kraepelini</i> Breddin, 1905		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	○
36	コウチュウ 目	トウキョウヒメハンミョウ	<i>Cicindela kalea yedoensis</i> (Kano, 1933)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	-
37	コウチュウ 目	コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i> Say, 1823		定着初期～ 限定分布			-	-	-	-	-	-

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	◎	-	○	○	-	北米	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。トマトやキクなどでトマト黄化えそウイルスを媒介する。
-	-	◎	-	○	○	-	不明	全域	農地	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	東南アジア	全域	農地	様々な作物を加害する。多くの薬剤に対して抵抗性を発達させている。
-	-	◎	-	○	○	-	地中海東地域	全域	農地	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	不明	全域	農地	カキを加害する。日本では1975年に岡山県で初めて発見された。
-	-	-	-	-	○	-	東南アジア	田辺市本宮町、和歌山市	畑地、里山	サクラ、ナンキンハゼ、プラタナス等の街路樹につき、樹液を吸う。
-	-	-	-	-	○	-	北米	橋本市	里山、市街地	2017年に初めて橋本市で侵入が確認された。
◎	-	-	-	-	○	-	模式産地はベトナム	紀北地方全域	里山、公園	芋虫・毛虫を捕え、体液を吸う。イラガの天敵となる。街路樹の窪みなどで幼虫で集団越冬する。
-	-	○	-	-	○	-	模式産地は中国湖南省	和歌山市	里山、市街地、公園	今後、分布が拡大する可能性が高い。
-	-	◎	-	○	○	-	北米～南米	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	北米、中東	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	中国	全域	農地	カンキツ類を加害する。本種の防除のため、天敵であるシルベストリコバチが導入がされた。
-	-	◎	-	○	○	-	オーストラリア	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。本種の防除のため、天敵であるベダリアテントウが導入がされた。
-	-	◎	-	○	○	-	不明	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	アフリカ熱帯地域	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。本種の防除のため、天敵であるルビーアカヤドリコバチが導入がされた。
-	-	◎	-	○	○	-	不明	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	南米	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	東南アジア	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。特にカンキツ類での被害が著しい。
-	-	◎	-	○	○	-	中国	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。近年、モモでの被害が増加傾向である。
-	-	◎	-	○	○	-	中国	全域	農地	カンキツ類を加害する。
-	-	◎	-	◎	○	-	不明	由良町	農地	和歌山県では2018年に初めて確認された。現在、ビワのみで確認されている。
-	-	◎	-	○	○	-	不明	全域	農地、様々な植物に寄生	2004年に京都府宇治市において初めてチャで確認された。
-	-	-	-	-	○	-	台湾、中国、東南アジア、イラン、ニューギニア	日高町以北	ため池	生息地のため池の水面以上に大量に見られるが、減少傾向にあると思われる。
○	-	-	-	-	-	○	国内移入?	かつらぎ町	裸地	元々県内に居たのかは不明であるが、近年近畿地方各地に分布を広げている。
-	-	-	-	-	○	-	北米	紀の川河川敷、熊野川河口、串本町田原	水辺の草地	河川敷や湿地草原の雑草の葉上で見られる。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
38	コウチュウ 目	クロチビエンマムシ	<i>Carcinops pumilio</i> (Erichson, 1834)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
39	コウチュウ 目	ナエドコチャイロコガネ	<i>Sericania mimica</i> Lewis, 1895		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	○
40	コウチュウ 目	トビカツオブシムシ	<i>Dermestes ater</i> De Geer, 1774		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
41	コウチュウ 目	フリカツオブシムシ	<i>Dermestes frischi</i> Kugelann, 1792		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
42	コウチュウ 目	カドマルカツオブシムシ	<i>Dermestes haemorrhoidalis</i> Kuster, 1852		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
43	コウチュウ 目	ハラジロカツオブシムシ	<i>Dermestes maculatus</i> De Geer, 1774		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
44	コウチュウ 目	ヒメカツオブシムシ	<i>Attagenus japonicus</i> Reitter, 1877		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
45	コウチュウ 目	シロオビマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus nipponensis</i> Kalik et N. Ohbayashi, 1985		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
46	コウチュウ 目	ヒメマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i> (Linnaeus, 1767)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
47	コウチュウ 目	チビタケナガシクイ	<i>Dinoderus minutus</i> (Fabricius, 1775)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
48	コウチュウ 目	アラゲヒラタキウイムシ	<i>Lyctoxylon dentatum</i> (Pascoe, 1866)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
49	コウチュウ 目	ナラヒラタキウイムシ	<i>Lyctus linearis</i> (Goeze, 1777)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
50	コウチュウ 目	オオナガシクイ	<i>Heterobostrychus hamatipennis</i> (Lesne, 1899)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
51	コウチュウ 目	ケブカシバンムシ	<i>Nicobium hirtum</i> (Illiger, 1807)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
52	コウチュウ 目	ジンサンシバンムシ	<i>Stegobium paniceum</i> (Linnaeus, 1761)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
53	コウチュウ 目	タバコシバンムシ	<i>Lasioderma serricorne</i> (Fabricius, 1792)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
54	コウチュウ 目	ニセサマルヒョウホンムシ	<i>Gibbium aequinoctiale</i> Boieldieu, 1854		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
55	コウチュウ 目	カバイロヒョウホンムシ	<i>Pseudeurostus hilleri</i> (Reitter, 1877)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
56	コウチュウ 目	ヒメヒョウホンムシ	<i>Ptinus clavipes</i> Panzer, 1809		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
57	コウチュウ 目	ナガヒョウホンムシ	<i>Ptinus japonicus</i> Reitter, 1877		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
58	コウチュウ 目	シロオビカツコムシ	<i>Tarsostenus univittatus</i> (Rossi, 1792)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
59	コウチュウ 目	アカクビホシカムシ	<i>Necrobia ruficollis</i> (Fabricius, 1775)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
60	コウチュウ 目	アカアシホシカムシ	<i>Necrobia rufipes</i> (De Geer, 1775)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
61	コウチュウ 目	ガイマイデオクスイ	<i>Carpophilus dimidiatus</i> (Fabricius, 1792)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
62	コウチュウ 目	ウスチャデオクスイ	<i>Carpophilus freemani</i> Dobson, 1956		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	里地	文献上の記録は串本町田原にある。
-	-	-	-	○	-	○	国内(関東)	橋本市	里地	堆肥の移動によって搬入される。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内、里地、里山	魚粉や干物を保存している倉庫などで発生するが、動物の古い死骸に集まる。
○	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内、里地、里山	魚粉や干物を保存している倉庫などで発生するが、動物の古い死骸に集まる。
○	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内、里地、里山	魚粉や干物を保存している倉庫などで発生するが、動物の古い死骸に集まる。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内、里地、里山	魚粉や干物を保存している倉庫などで発生するが、動物の古い死骸に集まる。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内、里地	衣類や干物を食害する。標本の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地、家屋内	衣類や干物を食害する。標本の害虫。
○	-	◎	-	○	○	-	不明	全域	家屋内、里地	衣類や干物を食害する。標本の害虫。
-	-	○	-	○	○	-	不明	全域	家屋内、竹林	建材の害虫。文献上の記録は広川町にある。
○	-	○	-	○	○	-	不明	全域	家屋内	建材の害虫。文献上の記録は葛城山にある。
-	-	○	-	○	○	-	不明	全域	家屋内	建材の害虫。文献上の記録は高野山にある。
○	-	○	-	○	○	-	東南アジア	全域	家屋内、森林	建材の害虫。
○	-	○	-	○	○	-	不明	全域	主として家屋内	家屋内の乾燥した材を食べる。
-	-	○	-	○	○	-	不明	全域	主として家屋内	小麦粉を使った乾燥食品を加害する。
-	-	○	-	○	○	-	不明	全域	主として家屋内	小麦粉を使った乾燥食品を加害する。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	主として家屋内	乾燥した動物性食品や剥製、標本を加害する。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	主として家屋内	乾燥した動物性食品や剥製、標本を加害する。
○	-	○	-	-	○	-	不明	全域	主として家屋内	乾燥した動物性食品や剥製、標本を加害する。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	主として家屋内	乾燥した動物性食品や剥製、標本を加害する。
-	-	-	-	○	○	-	不明	全域	家屋内	魚粉や干物を保存している倉庫などで発生する。文献上の記録は橋本市にある。
-	-	○	-	○	○	-	不明	全域	家屋内	魚粉や干物を保存している倉庫などで発生する。
-	-	○	-	○	○	-	不明	全域	家屋内	魚粉や干物を保存している倉庫などで発生する。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は古座川町平井にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は海南市にある。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
63	コウチュウ 目	クリイロデオキシイ	<i>Carpophilus marginellus</i> Motschulsky, 1858		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
64	コウチュウ 目	コメノケンキスイ	<i>Carpophilus pilosellus</i> Motschulsky, 1858		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
65	コウチュウ 目	トビイロデオネスイ	<i>Monotoma picipes</i> Herbst, 1893		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
66	コウチュウ 目	トゲムネデオネスイ	<i>Monotoma spinicollis</i> Aube, 1837		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
67	コウチュウ 目	サビカウムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes ferrugineus</i> (Stephens, 1831)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
68	コウチュウ 目	カウムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes pusillus</i> (Schoeherr, 1817)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
69	コウチュウ 目	カドコブホソヒラタムシ	<i>Ahasverus advena</i> (Waltl, 1832)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
70	コウチュウ 目	ノコギリヒラタムシ	<i>Oryzaephilus surinamensis</i> (Linnaeus, 1758)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
71	コウチュウ 目	フタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus bidentatus</i> (Fabricius, 1792)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
72	コウチュウ 目	ヒメフタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus lewisi</i> Reitter, 1876		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
73	コウチュウ 目	トゲムネキスイ	<i>Cryptophagus acutangulus</i> Gyllenhal, 1828		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
74	コウチュウ 目	ウスバキスイ	<i>Cryptophagus cellaris</i> (Scopoli, 1763)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
75	コウチュウ 目	ツマアカオオヒメテントウ	<i>Cryptolaemus montrouzieri</i> Mulsant, 1853		定着初期/ 限定分布			○	-	○	-	-	-
76	コウチュウ 目	ミスジキイロテントウ	<i>Brumoides ohtai</i> Miyatake, 1970		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
77	コウチュウ 目	ベダリアテントウ	<i>Rodolia cardinalis</i> (Mulsant, 1850)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
78	コウチュウ 目	クモガタテントウ	<i>Psyllobora vigintimaculata</i> (Say, 1824)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
79	コウチュウ 目	ムネアカオオクロテントウ	<i>Synona constanguinea</i> Slipinski et Booh, 2008		分布拡大～ まん延			-	-	○	-	-	-
80	コウチュウ 目	クビレヒメマキムシ	<i>Cartodere constricta</i> (Hummel, 1824)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
81	コウチュウ 目	キイロケシマキムシ	<i>Corticaria elongata</i> (Gyllenhal, 1827)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
82	コウチュウ 目	ムネアカヒメマキムシ	<i>Dienerella ruficollis</i> (Marsham, 1802)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
83	コウチュウ 目	チャイロコキノコムシ	<i>Typhaea stercorea</i> (Linnaeus, 1758)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
84	コウチュウ 目	ツマグロカミキリモドキ	<i>Nacardes melanura</i> (Linnaeus, 1758)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
85	コウチュウ 目	アトグロホソアリモドキ	<i>Anthicus floralis</i> (Linnaeus, 1758)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
86	コウチュウ 目	ガイマイゴミムシダマシ	<i>Alphitobius diaperinus</i> (Panzer, 1797)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
87	コウチュウ 目	コヒメコクヌストモドキ	<i>Palorus subdepressus</i> (Wollaston, 1864)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は和歌山市にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は串本町田原にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は和歌山市及び生石山にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は日高町阿尾にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は大塔山にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は海南市にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は和歌山市及び古座川町にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は大塔山及び護摩壇山にある。
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は北山村及び護摩壇山にある。
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は和歌山市及び上富田町にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は串本町にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は大年神社(和歌山市)及び春日神社(海南市)にある。
-	-	-	○	-	○	-	オーストラリア	白浜町、有田市	海岸林	コナカイガラムシの天敵。和歌山県では海岸林でしか発見されていない。
-	-	-	-	-	○	-	台湾	全域	草地	文献上の記録は和歌山市にある。
○	-	-	○	-	○	-	ハワイ	全域	二次林	イセリアカイガラムシの天敵として導入。
-	-	-	-	-	○	-	北米	紀の川河川敷	草地	うどんこ病など植物の葉に生えるカビ類を食べる。
-	-	-	-	-	○	-	東南アジア	全域	里地	2017年に初めて橋本市で侵入が確認された。
-	-	-	-	○	○	-	不明	全域	家屋内	田辺市のホテルで大発生した。家具や畳に生じたカビを食べる。
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	里地	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は和歌山市及び日高町にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内	貯蔵植物に生じたカビを食べると思われる。文献上の記録は御坊市にある。
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	圃場	貯蔵穀物害虫。圃場に集積された稲わらに集まる。文献上の記録は古座川町にある。
-	○	-	-	-	○	-	不明	全域	里地	このムシの体液が皮膚に付くと火ぶくれになる。
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	里地	畑地や草地などで、植物堆積物に生じたカビ類を食べる。貯蔵食品に生じたカビにも発生することがある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内	貯蔵穀物害虫。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	家屋内	貯蔵穀物害虫。文献上の記録はかつらぎ町にある。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
88	コウチュウ目	コクヌストモドキ	<i>Tribolium castaneum</i> (Herbst, 1797)		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
89	コウチュウ目	チャイロコメノゴミムシダマシ	<i>Tenebrio molitor</i> Linnaeus, 1758		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
90	コウチュウ目	コメノゴミムシダマシ	<i>Tenebrio obscurus</i> Fabricius, 1792		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
91	コウチュウ目	ツヤケンオオゴミムシダマシ	<i>Zophobas atratus</i> (Fabricius, 1775)		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
92	コウチュウ目	テツイロヒメカミキリ	<i>Ceresium sinicum</i> White, 1855		分布拡大～まん延			○	-	-	-	-	-
93	コウチュウ目	ラミーカミキリ	<i>Paraglenea fortunei</i> (Saunders, 1853)		分布拡大～まん延			-	-	-	-	○	-
94	コウチュウ目	クビアカツヤカミキリ	<i>Aromia bungii</i> Faldermann, 1834	防除対策 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	その他の 総合対策 外来種	-	-	-	○	○	-
95	コウチュウ目	インゲンマメゾウムシ	<i>Acanthoscelides obtectus</i> (Say, 1831)		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
96	コウチュウ目	ソラマメゾウムシ	<i>Bruchus rufimanus</i> Boheman, 1833		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
97	コウチュウ目	ブタクサハムシ	<i>Ophraella communa</i> LeSage, 1986		分布拡大～まん延			-	-	-	-	○	-
98	コウチュウ目	ミツモンヒゲナガゾウムシ	<i>Opanthribus trimaculatus</i> Senoh, 1986		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
99	コウチュウ目	ナガフトヒゲナガゾウムシ	<i>Xylinada striatifrons</i> (Jordan, 1895)		分布拡大～まん延			○	-	-	-	-	-
100	コウチュウ目	ワタミヒゲナガゾウムシ	<i>Araecerus fasciculatus</i> (De Geer, 1775)		分布拡大～まん延			○	-	-	-	-	-
101	コウチュウ目	ヤシオオオサゾウムシ	<i>Rhynchophorus ferrugineus</i> (Olivier, 1790)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	-
102	コウチュウ目	ココクゾウムシ	<i>Sitophilus oryzae</i> (Linnaeus, 1763)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	-
103	コウチュウ目	シバオサゾウムシ	<i>Sphenophorus venatus</i> Chittenden, 1904		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
104	コウチュウ目	イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i> Kuschel, 1951		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
105	コウチュウ目	アカウキクサゾウムシ	<i>Stenopelmus rufinus</i> Gyllenhal, 1836		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
106	コウチュウ目	ツメクサタネコバンゾウムシ	<i>Tychius picirostris</i> (Fabricius, 1787)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
107	コウチュウ目	ホソクチブトサルゾウムシ	<i>Rhinoncus albicinctus</i> Gyllenhal, 1837		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	-
108	コウチュウ目	ヤサイゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i> Schoenherr, 1826		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
109	コウチュウ目	オオタコゾウムシ	<i>Hypera punctata</i> (Fabricius, 1775)		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
110	コウチュウ目	アルファルファタコゾウムシ	<i>Hypera postica</i> (Gyllenhal, 1813)		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-
111	コウチュウ目	ケチビコフキゾウムシ	<i>Sitona hispidulus</i> (Fabricius, 1776)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	-
112	コウチュウ目	トゲナガキクイムシ	<i>Diapus aculeatus</i> Blandford, 1894		分布拡大～まん延			-	-	-	-	-	-



重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	-	-	○	-	オーストラリア	全域	家屋内	穀物粉害虫。
-	-	○	○	-	○	-	ヨーロッパ	全域	家屋内	貯蔵穀物害虫。幼虫がミールワームの商品名でペットの餌として市販されている。
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	全域	家屋内	貯蔵穀物害虫。
-	-	-	○	-	○	-	中米	全域	家屋内	野外での発見はまだ無いが、幼虫がジャイアントミルワームの商品名でペット餌として販売されている。野外での発見も時間の問題である。文献上の記録は海南市にある。
-	-	-	-	-	○	-	中国～台湾	全域	森林	文献上の記録は和歌山市、海南市及び護摩壇山にある。
-	-	○	-	-	○	-	中国	全域	里地	カラムシ、フヨウ等を加害する。
-	-	◎	-	-	○	-	中国	かつらぎ町	果樹園、公園	バラ科樹木の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	畑地	文献上の記録は大塔山にある。
-	-	○	-	-	○	-	日本へは中国から侵入	全域	畑地	文献上の記録は有田市、清水町及び護摩壇山にある。
○	-	-	-	-	○	-	北米	全域	草地	ブタクサを食害するため、ブタクサの増殖を抑える。
-	-	-	-	-	○	-	アメリカ?	紀の川河川敷	草地	刈草に生じた菌類を食べる。
○	-	-	-	-	○	-	東南アジア	全域	森林	薪炭林の伐採木に集まる。
○	-	-	-	○	○	-	不明	全域	里山、畑地	枯れ草、枯れ枝などに集まる。
-	-	◎	-	-	○	-	東南アジア	和歌山市～串本町の沿岸部	市街地、公園	フェニックスの新芽を加害し枯らしてしまう。
-	-	○	-	○	○	-	不明	和歌山市、葛城山	屋内	貯蔵穀物の害虫。
-	-	○	-	○	○	-	北米	和歌山市、葛城山	草地	成虫・幼虫共にシバ類の害虫。
-	-	◎	-	-	○	-	アメリカ	全域	圃場	稲の害虫。
-	-	-	-	-	○	-	不明	葛城山	圃場	アカウキクサの害虫。
-	-	-	-	○	○	-	不明	高野山、葛城山、生石山	草地	シロツメクサの害虫。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	紀の川河川敷	草地	タデ科植物の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	ブラジル	全域	畑地	各種野菜の害虫。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	全域	草地	レンゲソウ、クサフジ等のマメ科草本の害虫。文献上の記録は和歌山市、高野山及び生石山にある。
○	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	全域	草地、圃場	レンゲソウ、クサフジ等のマメ科草本の害虫。
○	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	紀の川流域、生石山	草地	カラスノエンドウ、クサフジ等のマメ科草本の害虫。
○	-	-	-	-	○	-	不明	全域	森林	文献上の記録は大塔山及び果無山脈にある。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
113	ハチ目	アメリカジガバチ	<i>Sceliphron caementarium</i> (Drury, 1773)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
114	ハチ目	ヤノネキイロコバチ	<i>Aphytis yanonensis</i> DeBauch et Rosen, 1982		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
115	ハチ目	ヤノネツヤコバチ	<i>Coccobius fulvus</i> (Compere et Annecke, 1961)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
116	ハチ目	シルベストリコバチ	<i>Encarsia smithi</i> (Silvestri, 1926)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
117	ハチ目	ルビーアカヤドリトビコバチ	<i>Anicetus beneficus</i> Ishii et Yasumatsu, 1954		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
118	ハエ目	オオケテショウバエ	<i>Clogmia albipunctatus</i> (Williston, 1893)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
119	ハエ目	アメリカミズアブ	<i>Hermetia illucens</i> (Linnaeus, 1758)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	○
120	ハエ目	トマトハモグリバエ	<i>Liriomyza sativae</i> Blanchard, 1938		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
121	ハエ目	マメハモグリバエ	<i>Liriomyza trifolii</i> (Burgess, 1880)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
122	ハエ目	キイロショウジョウバエ	<i>Drosophila melanogaster</i> Meigen, 1830		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	○
123	チョウ目	コクマルハキバガ	<i>Martyringa xeraula</i> (Meyrick, 1910)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
124	チョウ目	ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida</i> (Cramer, 1777)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-
125	チョウ目	タケノホソクロバ	<i>Artona martini</i> Efetov, 1997		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
126	チョウ目	ナシヒメシンクイ	<i>Grapholita molesta</i> (Busck, 1916)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
127	チョウ目	ギフチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i> Leech, 1889		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
128	チョウ目	ツヅリガ	<i>Paralipsa gularis</i> (Zeller, 1877)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
129	チョウ目	コメシマメイガ	<i>Aglossa dimidiata</i> (Haworth, 1810)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
130	チョウ目	カシノシマメイガ	<i>Pyralis farinalis</i> (Linnaeus, 1758)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
131	チョウ目	スジマダラメイガ	<i>Cadra cautella</i> (Walker, 1863)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
132	チョウ目	ノシメマダラメイガ	<i>Plodia interpunctella</i> (Hubner, 1813)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
133	チョウ目	シバツトガ	<i>Parapediasia teterella</i> (Zincken, 1821)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
134	チョウ目	イッテンオオメイガ	<i>Scirpophaga incertulas</i> (Walker, 1863)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
135	チョウ目	アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i> (Drury, 1773)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
136	チョウ目	オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera</i> (Hubner, 1808)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-
137	チョウ目	シロイチモジヨトウ	<i>Spodoptera exigua</i> (Hubner, 1808)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	-	-

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	北米	全域	里地から、市街地	泥で壺形の巣を作り、クモ類を狩り、壺に蓄えて産卵する。
-	-	-	○	-	○	-	中国	全域	農地	ヤノネカイガラムシの天敵として導入された。
-	-	-	○	-	○	-	中国	全域	農地	ヤノネカイガラムシの天敵として導入された。
-	-	-	○	-	○	-	中国	全域	農地	ミカントゲコナジラムシの天敵として導入された。
-	-	-	○	-	○	-	中国	全域	農地	ルビーロウムシの天敵として導入された。
-	○	○	-	-	○	-	模式産地はキューバ	全域	おもに人的環境の止水	記録は少ないが、県内全域に定着していると考えられる
-	-	-	○	-	○	-	北米～中米	全域	里地、人家	食品廃棄物処理への利用が期待されている。
-	-	◎	-	○	○	-	北米～南米	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。
-	-	◎	-	○	○	-	北米	全域	農地、様々な植物に寄生	様々な作物を加害する。
-	-	-	-	○	○	-	アフリカ	全域	里地、人家	人家に普通にみられる。果実や樹液等の発酵したものに集まる。
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	里山	文献上の記録は和歌山市、岩出市及び古座川町にある。
-	○	○	-	-	○	-	南アジア	全域	里山	果樹や庭木、街路樹の害虫
-	○	-	-	-	○	-	不明	全域	里山	文献上の記録は和歌山市、海南市及び田辺市にある。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地	文献上の記録は和歌山市にある。
-	-	-	-	-	-	○	奈良県(推測)	紀の川市	里山	1980年代まで自然分布していたが、絶滅。その後、人為的に放蝶。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地・家屋	貯蔵穀物の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地・家屋	貯蔵穀物の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地・家屋	貯蔵穀物の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	不明	全域	里地・家屋	貯蔵穀物の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	インド	全域	里地・家屋	貯蔵穀物の害虫。
-	-	○	-	-	○	-	アメリカ	全域	草地	芝草の害虫。文献上の記録は和歌山市及び上富田町にある。
-	-	○	-	-	○	-	東南アジア	田辺市(旧大塔村)	里地	稲作害虫であるが、旧大塔村富里で発見された記録のみ。
-	-	○	-	-	○	-	アメリカ	全域	市街地	街路樹や庭木の害虫。和歌山県での発生は少ない。
-	-	○	-	-	○	-	東南アジア	全域	森林、里山	文献上の記録は和歌山市、印南町及び護摩壇山にある。
-	-	-	-	-	○	-	不明	全域	里山	文献上の記録は印南町にある。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
138	チョウ目	ニセタマナヤガ	<i>Peridroma saucia</i> (Hubner, 1808)		分布拡大～ まん延			○	-	-	-	-	-

(7) 貝類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
1	新生腹足目	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i> Sowerby, 1814		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	-	○	○
2	異足目	サキグロタマツメタ	<i>Laguncula pulchella</i> Benson, 1842	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	○	-	◎	-	○	○
3	異足目	オオネズミガイ	<i>Mammilla kurodai</i> I.Taki, 1943		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	○
4	新腹足目	タイワンレイシ	<i>Mancinella bufo</i> (Lamarck, 1822)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	○
5	新生腹足目	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i> (Lamarck, 1819)		分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	-	-	-	-	◎	-
6	新生腹足目	コモチカワツボ	<i>Pomatopyrgus antiponarium</i> (Gray, 1843)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	-	-	○	-
7	新生腹足目	ヌノメカワニナ	<i>Melanooides tuberculata</i> (Müller, 1774)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	-
8	基眼目	サカマキガイ	<i>Physa acyta</i> Draparnaud, 1805		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	○	-
9	基眼目	ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i> (Say, 1817)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	-	-	○	-
10	基眼目	インドヒラマキガイ	<i>Indoplanorbis exustus</i> (Deshayes, 1832)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	○
11	柄眼目	オオクビキレガイ	<i>Rumina decollata</i> (Linnaeus, 1758)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	-	-	○	-
12	柄眼目	チャコウラナメクジ	<i>Lehmannia valentiana</i> (Férussac, 1821)		分布拡大～ まん延			-	-	-	-	◎	-
13	イガイ目	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i> Lamarck, 1819	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	○	◎	○
14	イガイ目	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i> (Linnaeus, 1758)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	-	○	○
15	イガイ目	コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i> (Lamarck, 1819)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	○	◎	○
16	イガイ目	イガイダマシ	<i>Mytilopsis sallei</i> (Récluz, 1849)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	○	○	○
17	マルスダレガイ目	ウスカラシオツガイ	<i>Petricola</i> sp.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
18	マルスダレガイ目	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i> (Linnaeus, 1758)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	-	-	-	-
19	マルスダレガイ目	シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i> (Lamarck, 1818)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	-	-	-	-
20	マルスダレガイ目	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i> (Müller, 1774)	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	○	-	-	○	-

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
○	-	-	-	-	○	-	中南米	全域	森林、里山	ネキリムシとして、各種農作物に被害を与える。

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	-	○	○	-	南北アメリカ大陸太平洋岸	和歌山市～白浜町の県北中部	海岸、内湾	(海産)県下では1974年以降、和歌山市～白浜町までの北～中部の各地で発見されている。サザエ・アカニシ等の食用巻貝の殻に付着して汚損するが、成長等に負の影響を与えるかは不明である。
-	-	◎	-	○	○	-	渤海、黄海	和歌山市	内湾干潟	(海産)2004年2月に和歌山市和歌浦干潟で採集されたが、県下の記録はこの一例のみである。2000年代、東北地方太平洋岸で本種が大発生した時にはアサリを食害し、アサリ漁と潮干狩りに大きな被害を与えたことがあるため、本県でも警戒が必要である。
-	-	-	-	-	○	-	中国沿岸	紀伊水道	浅海細砂底	(海産)1960～2002年までの県下の採集個体は1～数個体の範囲であったのに、2004～2006年の間に128個体が確認された。本種の個体数の増加は、地球温暖化による水温上昇が起因すると想定される。
-	-	-	-	-	○	-	台湾、熱帯域	紀南	浅海岩礁	(海産)本県での確認例は、田辺・串本で少数個体を確認したのが最初である。その後、2014年2月に串本で生個体70個体以上を一度に採集している。本種の分布域の拡大と個体数の増加は、地球温暖化による水温上昇が起因すると想定される。
-	-	◎	-	-	○	-	中南米	和歌山市～上富田町	水路、水田等	(淡水)県内では、1981年頃、養殖貝として、最初に串本に移入されたという。確認範囲では、紀の川、有田川水系周辺の水路や田圃に生息が見られ、特に有田川水系の個体は、かつて存在した養殖場由来する個体と見られる。初夏には水田・水路溝の水面に側壁等に生着した卵塊が見られる。現在のところ、上富田町以南の紀南地方には確認されていない。
-	-	-	-	-	○	-	ニュージーランド	那智勝浦町粉白沿岸(ぶつづつ川)	淡水	(淡水)1990年三重県桑名市の養魚施設で発見される。個体が小さく(4～6mm)、高い繁殖力で、カワナと競合。これまで1道1府13県で確認されており、関西では滋賀県、京都府、兵庫県で確認されているが、本県では最近確認された。
-	-	-	-	-	○	-	インド	白浜町湯崎	淡水、汽水域	(淡水)2016年7月に白浜町湯崎に流入する小河川に確認。
-	-	-	-	-	○	-	欧州	県内全域	市街地の水路等	(淡水)県下での初記録は、1961年、旧笠田町であるが、1950年以前には和歌山市に分布していたと考えられる。確認事例では和歌山市や有田市の水路で生息が見られ、県下の市街地全域に生息があると推定される。
-	-	-	-	○	○	-	欧州、北米ほか	紀北	ため池、水路	(淡水)奈良、大阪など近畿域では2000年初めに広く分布が確認されており、本県への分布もこの頃に始まったと見られる。和歌山市、かつらぎ町など紀北域のため池や海岸の打上個体から確認されている。特にかつらぎ町ではカワネジギととも生息するが、顕著な定着は認められない。
-	-	-	-	○	○	-	東南アジア	紀北	淡水止水域	(淡水)本県では和歌山市の海岸での打上個体を確認している。ただし、実際の活きた個体の生息地は確認に至っていない。
○	-	-	-	○	○	-	欧州、北米	紀南(田辺市)	畑地地表	(陸産)2001年に白浜町に漂着した個体が確認され、その後、田辺市の梅畑から生きた個体群が確認されている。分布域は極めて狭く、特定の畑地のみ見られる。
-	-	○	-	○	○	-	スペイン	県内全域	陸産	(陸産)人家周辺の庭や菜園で確認。県下一戸の人家周辺に侵入しているものと思われる。
-	-	◎	○	○	○	-	地中海	県内全域	海岸、内湾、港湾	(海産)県内全域の港湾に分布しているが、1980年代以前には港湾外の干潟や岩礁域にも生息していた。田辺湾では1980年代後半以降減少した。全国的に港湾外での分布は退潮傾向にあるとの報告もあるが、県外での大発生時にはマガキ等を被覆して成長を遅滞させたり死滅させることが報告されており、警戒が必要である。
-	-	○	○	○	○	-	西太平洋～インド洋	県内全域	内湾、港湾	(海産)県下での初発見は1992年すさみ町で、それ以降和歌山市～串本町までの港湾とその周辺の岩礁で発見されている。田辺湾では2000年代以降増加したとの報告がある。
-	-	○	-	○	○	-	オーストラリアとニュージーランド	和歌山市、海南市、広川町、御坊市、	内湾、河口域	(海産)県下での初記録は1979年和歌山市紀の川河口で、それ以降、和歌山河口、海南市琴の浦、広川町広川河口、西広海岸、御坊市日高川河口で発見されている。大発生時には汽水域の在来フツボ類を被覆して死滅させることがある。
-	-	○	-	○	○	-	カリブ海とメキシコ湾	和歌山市紀の川河口	内湾、河口域	(海産)県下での初記録は2000年和歌山市紀の川河口。それ以後も、和歌山市名草の浜での死殻の採集記録はあるが、生貝の確認は紀の川河口でしか報告がない。
-	-	-	-	○	○	-	不明	和歌山市、海南市、広川町	内湾	(海産)1983年の和歌山市毛見沖での発見が本種の日本初記録である。その後和歌山市～海南市の各地と広川町西広海岸で記録されている。外来種ムラサキガイの群生の中で見つかることが多く、在来種や産葉への影響は知られていない。
-	-	-	-	-	○	-	北米	和歌山市加太	潮間帯や水深15mまでの砂底や砂泥底域	(海産)2010年10月に和歌山市加太から幼個体半片を確認した。この時期、大阪湾や瀬戸内海西域では本種の定着が確認されており、これらの定着個体由来したものと思われる。
-	-	-	-	-	○	-	中国、朝鮮半島南部	紀の川、有田川河口域	潮間帯下の細砂や砂泥底域	(海産)本邦産ハマグリ代替品として輸入された個体が由来。紀の川河口(北島橋)や有田川河口(有田大橋)周辺の汽水域で生個体の打上個体を確認。ただし、その後の定着は不明である。紀の川河口域ではハマグリとともに生個体が確認されている。愛知県ではハマグリとの交雑種と見られる個体が記録されているが、本県では未確認。
-	-	-	-	○	○	-	中国、朝鮮半島	紀北	水路、河川	(淡水)中国産活きシジミとして輸入・販売されている。和歌山市郊外の水路に多産しており、これは炊事の際の洗浄、砂出しで放出された稚貝が水路に定着した結果と見られる。本種はマシジミと非常に近縁な種であり、また精子量が多いことから、マシジミの卵子と交雑している可能性が高いと推定される。

## (8) その他無脊椎動物

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競合	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
1	〈刺胞動物〉マミズクラゲ目	マミズクラゲ	<i>Craspedacusta sowerbyi</i> Lankester, 1880		定着初期/ 限定分布			○	-	○	-	-	-
2	〈扁形動物〉不透明目	アメリカナミウズムシ	<i>Girardia tigrina</i> (Girard, 1850)		定着初期/ 限定分布			○	-	○	-	○	○
3	〈扁形動物〉不透明目	アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i> (Woodworth, 1897)		定着初期/ 限定分布			-	-	○	-	○	○
4	〈環形動物〉ケヤリ目	カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomatus enigmaticus</i> (Fauvel, 1923)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	○	○	○
5	〈環形動物〉ケヤリ目	カサネカンザシ	<i>Hydroides elegans</i> (Haswell, 1883)		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	○	○	○
6	〈環形動物〉厚環帯目	ウスイロツリミズ(仮名)	<i>Aporrectodea caliginosa</i> (Savigny, 1826)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	○	○
7	〈環形動物〉厚環帯目	フクロナシツリミズ	<i>Bimastos parvus</i> Eisen, 1874		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	○	○
8	〈環形動物〉厚環帯目	シマミズ	<i>Eisenia fetida</i> (Savigny, 1826)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	○	○
9	〈環形動物〉厚環帯目	カイヨウミズ	<i>Ocnerodrilus occidentalis</i> Eisen, 1878		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	○	○
10	〈節足動物(鉋角類)〉サソリモドキ目	アマミサソリモドキ	<i>Typopeltis stimpsonii</i> (Wood, 1862)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
11	〈節足動物(鉋角類)〉クモ目	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasselti</i> Thorell, 1870	防除対策 外来種	分布拡大~ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	-	-	○	-	○	◎
12	〈節足動物(鉋角類)〉クモ目	クロガケジグモ	<i>Badumna insignis</i> (L.Koch, 1872)		分布拡大~ まん延			○	-	○	-	◎	◎
13	〈節足動物(甲殻類)〉背甲目	タイリクカブトエビ	<i>Triops sinensis</i> (Uéno, 1925)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
14	〈節足動物(甲殻類)〉背甲目	アメリカカブトエビ	<i>Triops longicaudatus</i> (LeConte, 1864)		分布拡大~ まん延			-	-	-	-	-	-
15	〈節足動物(甲殻類)〉背甲目	シラハマオーストラリアカブトエビ	<i>Triops strenuus</i> Wolf, 1911		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
16	〈節足動物(甲殻類)〉無柄目	タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i> (Darwin, 1854)		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	-	○	○
17	〈節足動物(甲殻類)〉無柄目	アメリカフジツボ	<i>Amphibalanus eburneus</i> (Gould, 1841)		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	-	○	○
18	〈節足動物(甲殻類)〉無柄目	ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i> (Darwin, 1854)		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	-	○	○
19	〈節足動物(甲殻類)〉無柄目	ココボーマアカフジツボ	<i>Megabalanus coccopoma</i> (Darwin, 1854)		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	-	○
20	〈節足動物(甲殻類)〉端脚目	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i> Bousfield, 1963		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	-	-	○	○
21	〈節足動物(甲殻類)〉等脚目	オカダンゴムシ	<i>Armadillidium vulgare</i> (Latreille, 1804)		分布拡大~ まん延			○	-	-	-	◎	○
22	〈節足動物(甲殻類)〉等脚目	ホソワラジムシ	<i>Porcellionides pruinosus</i> (Brandt, 1833)		分布拡大~ まん延			○	-	-	-	◎	○
23	〈節足動物(甲殻類)〉等脚目	ナガラジムシ	<i>Haplophthalmus danicus</i> Budde-Lund, 1879		分布拡大~ まん延			○	-	-	-	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	○	○	-	不明	岩出市、紀の川市、橋本市、御坊市、印南町、みなべ町、田辺市、白浜町	ため池、ダム湖	
-	-	○	-	○	○	-	北米大陸	和歌山市、海南市、新宮市	河川中～下流域	2018年の調査により、和歌山市を流れる紀の川の支流高川と和歌川支流和太川、海南市の日方川、新宮市の熊野川支流市田川で発見された。いずれも、平地を流れ有機汚濁がややある中～下流の小河川である。競合や捕食による在来種への負の影響を示唆する報告もあるが、実証されていない。セリ、クレソン、エンサイといった水生作物に付着したまま出荷されると衛生的な被害を引き起こす可能性があることが指摘されている。
-	-	-	-	○	○	-	北米大陸	和歌山市、海南市、御坊市、新宮市	河川中～下流域	2018年の調査により、和歌山市を流れる紀の川の支流高川と和歌川支流和太川、海南市の日方川、御坊市の下川、新宮市の熊野川支流市田川で記録された。いずれも、平地を流れ有機汚濁がややある中～下流の小河川であり、アメリカナミズムシと同所的に分布している。競合や捕食による在来種への負の影響を示唆する報告もあるが、実証されていない。
-	-	○	-	○	○	-	インド洋またはオーストラリア周辺海域か？	和歌山市	内湾、河口域	2004年以降、和歌山市紀の川河口で発見された記録が6回ほどあるが、それ以外の場所での報告はない。県外や国外で発生した場合には、マガキ等の在来生物を被覆して死滅させたりすることがあり、警戒が必要である。
-	-	◎	-	○	○	-	不明	和歌山市、白浜町	内湾、河口域	1928年に白浜町瀬戸周辺で採集された標本が、日本初記録である。県下ではそれ以降1960年代までの報告がないが、1970年代以降、白浜町、和歌山市紀の川河口と和歌浦で発見されている。1960年代に広島県で発生した時には、垂下養殖されたマガキを被覆して死滅させ、甚大な被害を与えたことがあり、警戒が必要である。
-	-	-	-	○	○	-	旧北区	串本町で記録がある	森林、里地	全国的にも記録が少ない。和歌山県では1945年以前の1例の記録があるのみだが、その後の調査がほとんど行われていないため、現状は不明。
-	-	-	-	○	○	-	北米	串本町で記録がある	森林、里地	全国的にも記録は多くない。和歌山県では1945年以前の1例の記録があるのみだが、その後の調査がほとんど行われていないため、現状は不明。
-	-	-	○	○	○	-	旧北区	串本町で記録がある	里地	全国に広く分布する。釣り餌として流通しており、逸出が懸念されるものの、生息地は限られ、森林生態系内からはほとんど採集されず、大きな影響はないと考えている。
-	-	-	-	○	○	-	不明	串本町で記録がある	森林、里地	全国的にも記録が少ない。和歌山県では1945年以前の1例の記録があるのみだが、その後の調査がほとんど行われていないため、現状は不明。
-	○	-	-	○	-	○	奄美大島	有田市	土壌性	2011年に発見。本州各地の発見例については、ソテツの苗木や鉢物に潜入した個体が運ばれたと考えられているが、発見場所は住宅建設会社であることから、建築用木材への混入により移入した可能性がある。
-	◎	-	-	○	○	-	オーストラリア	和歌山市、岩出市、橋本市、紀の川市、海南市、かつらぎ町、紀実野町、白浜町	都市部、住宅地等、人工的な環境	1996年、和歌山市内の小学校で発見。前年の大阪府・三重県・沖縄県に次いで全国で4番目。
-	-	-	-	○	○	-	オーストラリア	県内全市町村	住宅地等、人工的な環境	1963年に大阪府で最初に確認され、1975年には和歌山県すさみ町において全国で2番目となる生息確認がされた。
-	-	-	-	○	○	-	中国	白浜町、すさみ町周辺	水田	これまで日本各地からアジアカブトエビ <i>Triops garanarius</i> とされてきた種。Naganawa (2018)により改名された。
-	-	-	-	○	○	-	北米～中米	和歌山市、白浜町、すさみ町周辺	水田	和歌山県内に比較的広く分布する。
-	-	-	-	○	○	-	オーストラリア	白浜町、上富田町	水田脇の水路	Naganawa (2018)により、日本国内で初めて記録された。他のカブトエビ類とは異なり、止水でなく流水中を群れる。白浜町の白良浜の養浜事業のためにオーストラリアから持ち込まれた砂に休眠卵が混じっていて、そこから拡散したとみられている。
-	-	○	-	○	○	-	太平洋熱帯海域	県内全域	内湾、港湾	1938年以前に白浜町で記録されており、現在、県内全域の港湾に分布している。養殖貝類や漁具・船底を汚損し、在来種サラサフジツボを全国の内湾域から駆逐した可能性も示唆されているが、在来種への確実な被害は知られていない。
-	-	○	-	○	○	-	北米南部～南米北部の大西洋岸	県内全域	内湾、河口、港湾	県下での初記録は1972年串本町で、それ以後、和歌山市～那智勝浦町までの内湾・河口域と規模の大きな港湾で発見されている。養殖貝類や漁具・船底を汚損するが、在来種への確実な被害は知られていない。
-	-	○	-	○	○	-	欧州中部	県内全域	内湾、河口、港湾	県下での初記録は1962年海南市で、それ以後、和歌山市～那智勝浦町までの内湾・河口域と規模の大きな港湾で発見されている。養殖貝類や漁具・船底を汚損するが、在来種への確実な被害は知られていない。
-	-	○	-	○	○	-	中南米太平洋岸	和歌山市、海南市、田辺市、白浜町、すさみ町	海岸、内湾	国内では1978年に初めて発見され、東京湾での発見例が最も多いが、現在、各地に分布を拡大中であると思われる。県下での初発見は1981年海南市の岩徳で、その後2004年までの記録はないが、2005年以降、和歌山市、海南市、田辺市、白浜町、すさみ町の11ヶ所の岩徳や灯浮標で発見されている。灯浮標、漁具、漁網等を汚損するが、在来種への被害は不明である。
-	-	-	-	○	○	-	アメリカ合衆国南東部	和歌山市、湯浅町	河川中～下流域	2004年に和歌山市六十谷の紀の川下流で発見されており、2015年には湯浅町湯浅の山田川での目撃情報もある。在来種ヨコエビ類は湧水のある河川上～中流の貧酸素水域に生息する種が多いが、本種は中～下流部の有機汚濁がやや強い水域にも生息できる。他県では在来種ヨコエビと混生している場所も見つかっているが、競合等の関係は不明である。
-	-	○	-	○	○	-	欧州	県内全市町村	都市、郊外	場合によっては園芸害虫となる可能性がある。
-	-	-	-	○	○	-	欧州	和歌山市、海南市、橋本市、由良町、白浜町、串本町、那智勝浦町等	都市、郊外、海浜	平野部は全県的に分布すると思われるが、紀南などではしばしば多産する。
-	-	-	-	○	○	-	不明	美浜町、高野町、印南町、串本町等	森林、里地	全国的にしばしば多産するが4mmまでの小型種の為、見つけにくい。

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	捕食	改変	繁殖	気候
24	〈節足動物 (甲殻類)〉 等脚目	クマワラジムシ	<i>Porcellio laevis</i> Latreille, 1803		定着初期/ 限定分布			○	-	-	-	○	○
25	〈節足動物 (甲殻類)〉 十脚目	カワリヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> spp.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布			○	○	-	-	○	○
26	〈節足動物 (甲殻類)〉 十脚目	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i> (Girard, 1852)	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		緊急対策 外来種	-	-	◎	-	○	○
27	〈節足動物 (甲殻類)〉 十脚目	イッカクモガニ	<i>Pyromaia tuberculata</i> (Lockington, 1877)		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	○	○
28	〈節足動物 (甲殻類)〉 十脚目	チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus aestuarii</i> Nardo, 1847		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	-	-	○	○	-	-

(9) 植物

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害				分布拡大	
								競争	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
1	キク	アメリカトゲミギク	<i>Acanthospermum hispidum</i> DC.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
2	キク	セイヨウノコギリソウ	<i>Achillea millefolium</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
3	キク	カッコウアザミ	<i>Ageratum conyzoides</i> L.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
4	キク	ムラサキカッコウアザミ	<i>Ageratum houstonianum</i> Mill.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
5	キク	ブタクサモドキ	<i>Ambrosia psilostachya</i> DC.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
6	キク	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.		分布拡大~ まん延			-	-	-	○	○	○
7	キク	オオブタクサ(クワモドキ)	<i>Ambrosia trifida</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
8	キク	カミツレモドキ	<i>Anthemis cotula</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
9	キク	クソニンジン	<i>Artemisia annua</i> L.		分布拡大~ まん延			-	-	-	○	○	○
10	キク	キンバイタウコギ	<i>Bidens aurea</i> (Aiton) Sherff		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
11	キク	コバノセンダングサ	<i>Bidens bipinnata</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
12	キク	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i> L.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
13	キク	シロノセンダングサ(コシロノ センダングサ)	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff		分布拡大~ まん延			-	-	-	◎	○	○
14	キク	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
15	キク	オオバナセンダングサ(タチ アユキセンダングサ)	<i>Bidens pirosa</i> L. var. <i>radiata</i> Sch. Bip.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
16	キク	ヒレアザミ	<i>Carduus crispus</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
17	キク	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎



重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	○	○	-	欧州	田辺市内之浦	都市、郊外	最近、田辺市の内之浦で渡部哲也氏により確認。
-	-	-	-	○	○	-	中国・韓国・台湾	有田川、南部川、富田川から記録される	河川中下流部、水路	日本固有のミナミヌマエビ <i>Neocardina denticulata denticulata</i> とは異なる複数種を含むもの。釣り餌や観賞用として輸入されたものが廃棄放流されて日本各地で拡がりつつある。在来のミナミヌマエビとの交雑も懸念される。近年和歌山県内の河川からも記録されるようになった。
-	-	-	-	-	○	-	アメリカ合衆国	県内全域	水路、池沼、水田	日本生態学会(2002)で侵略的外来種に上げられている。競合する在来のザリガニは和歌山県には分布しないが、他の水生生物に影響を与え、生態系を改変させる恐れがあるとされている。
-	-	-	-	-	○	-	北米から中米の太平洋沿岸	海南市、有田市	内湾	和歌山県沿岸では、海南市と有田市の海岸からの記録があるが、東京湾のように多産することはない。
-	-	-	-	-	○	-	地中海沿岸	和歌山市	内湾	和歌山県沿岸では、和歌山市和歌川河口と紀の川河口からの記録があるが、それ以外の地域からの情報は無い。

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	-	-	○	-	南アメリカ北部	県内散在	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	◎	-	○	-	ユーラシア	県内散在	草地、路傍、空き地	栽培からの逸出も。
-	-	-	○	-	○	-	南アメリカ、熱帯アメリカ	紀北地域	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	南アメリカ、熱帯アメリカ	紀北地域	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	○	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、草地、芝地、路傍、林縁、河川敷	近年減少している。
-	○	○	-	◎	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、空き地、河川敷	
-	○	○	-	-	○	-	北アフリカ～ユーラシア	県内散在	畑地、果樹園、草地、路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	東ヨーロッパ～アジア	県内全域	畑地、路傍、市街地	
-	-	-	○	-	○	-	中央アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	○	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	道端、空き地	
-	-	◎	-	◎	○	-	北アメリカ	県内全域	水田、水路、休耕田、路傍、空き地	
-	-	-	-	◎	○	-	世界の暖帯～熱帯	県内全域	都市近郊、道端、空き地	
-	-	○	-	◎	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、草地、芝地、路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	-	○	○	-	原産地不明	県内散在	路傍、畑地	
-	○	-	-	-	○	-	ユーラシア	紀北～紀中地域	路傍、空き地	
-	○	○	-	○	○	-	ヨーロッパ	紀北地域散在	空き地、河川敷	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
18	キク	アレチノギク	<i>Conyza bonariensis</i> (L.) Cronquist		分布拡大～ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
19	キク	ヒメムカシヨモギ	<i>Conyza canadensis</i> (L.) Cronquist		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
20	キク	ケナシヒメムカシヨモギ(ケ ナシムカシヨモギ)	<i>Conyza parva</i> Cronquist		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
21	キク	オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i> (Retz.) E.Walker		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
22	キク	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
23	キク	ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
24	キク	マメカミツレ	<i>Cotula australis</i> (Sieber ex Spreng.) Hook.f.		分布拡大～ まん延			-	-	-	◎	◎	◎
25	キク	ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S. Moore		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
26	キク	アメリカカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.		分布拡大～ まん延			◎	○	-	◎	◎	◎
27	キク	ダンドボロギク	<i>Erechtites hieracifolius</i> (L.) Raf. ex DC. var. <i>hieracifolius</i>		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
28	キク	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
29	キク	ペラペラヨメナ(ペラペラヒメジョ オン、メキシコヒナギク、エリゲ ロン・カルピンスキアヌス、源平 小菊、ゲンベイコギク)	<i>Erigeron karvinskianus</i> DC.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
30	キク	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
31	キク	ヘラバヒメジョオン	<i>Erigeron strigosus</i> Muhl. ex Willd.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
32	キク	コゴメギク	<i>Galinsoga parviflora</i> Cav.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
33	キク	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i> Ruiz et Pav.		分布拡大～ まん延			-	-	-	○	○	○
34	キク	タチチコグサ	<i>Gamochaeta calviceps</i> (Fernald) A.L.Cabrera		分布拡大～ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
35	キク	ウラジロチコグサ	<i>Gamochaeta coractata</i> (Willd.) Kerguélem		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
36	キク	チコグサモドキ	<i>Gamochaeta pensylvanica</i> (Willd.) A.L.Cabrera		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
37	キク	ウスベニチコグサ	<i>Gamochaeta purpurea</i> (L.) A.L.Cabrera		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
38	キク	ミズヒマワリ	<i>Gymnocoronis spilanthoides</i> DC.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
39	キク	サンシテソウ	<i>Gynura japonica</i> (Thunb.) Juel		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
40	キク	ヒメヒマワリ	<i>Helianthus cucumerifolius</i> Torr. et A.Gray		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
41	キク	イヌクイモ	<i>Helianthus strumosus</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	-	-	○	-	南アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、空き地、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	南アメリカ	県内全域	空き地、畑地、果樹園、草地、路傍	
○	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、河川敷	緑化等に使用されていた。
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ西部	紀北地域	河川敷、路傍、空き地	植栽されたものからの逸出も。
-	-	-	-	○	○	-	オーストラリア	県内全域	路傍、空き地、市街地	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アフリカ	県内全域	林縁、路傍、空き地	
-	-	○	-	○	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地、水田	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、果樹園	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	中央アメリカ	県内各地	路傍、石垣	植栽されたものからの逸出も。
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	水田畦畔、草地、路傍、畑地、堤防、空き地	1970年代から侵入(?)
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	紀北地域を中心として県内散在	路傍、畑地、堤防	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、畑地	
-	-	○	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、庭、空き地、路傍、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍	
-	-	○	-	-	○	-	南アフリカ	県内全域	荒地、市街地、路傍、公園	
-	-	○	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、芝地、路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	中央～南アメリカ	日高川町	沼沢、湿地、ため池、湖沼、水路、河川	2005年に日高川町で発見された。ピオトープ整備時に導入されたとみられる。
-	-	-	○	-	○	-	ネパール、中国、台湾	県内散在	林縁	
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
42	キク	クワイモ	<i>Helianthus tuberosus</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
43	キク	ヒメフタナ	<i>Hypochaeris glabra</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
44	キク	フタナ	<i>Hypochaeris radicata</i> L.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
45	キク	トゲチシャ	<i>Lactuca serriola</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
46	キク	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i> Lam.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
47	キク	カミツレ	<i>Matricaria chamomilla</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
48	キク	エダウチチコグサ	<i>Omalotheca sylvatica</i> (L.) Sch. Bip. et F.W.Schultz		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
49	キク	アラゲハンゴンソウ	<i>Rudbeckia hirta</i> L. var. <i>pulcherrima</i> Farw.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
50	キク	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i> L.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
51	キク	イトバギク	<i>Schkuhria pinnata</i> (Lam.) Kuntze ex Thell var. <i>abrotanoides</i> (Roth) A.L.Cabrera		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
52	キク	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i> Poir.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
53	キク	ノボロギク	<i>Senesio vulgaris</i> L.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
54	キク	オオアザミ	<i>Silybum marianum</i> (L.) Gaertn.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
55	キク	セイタカアワダチソウ(セイタ カアキノキリンソウ)	<i>Solidago altissima</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
56	キク	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> Aiton subsp. <i>serotina</i> (Kuntze) McNeill		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
57	キク	イガトキンソウ	<i>Soliva antemifolia</i> (Juss.) R.Br.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
58	キク	メリケントキンソウ	<i>Soliva sessilis</i> Ruiz et Pav.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	◎	◎	◎
59	キク	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
60	キク	ホウキギク	<i>Symphotrichum subulatum</i> (Michx.) G.L.Nesom var. <i>subulatum</i>		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
61	キク	ヒロハホウキギク	<i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>squamatum</i> (Spreng.) S.D.Sundberg		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
62	キク	シオザキソウ	<i>Tagetes minuta</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	○	○
63	キク	アカミタンポポ	<i>Taraxacum laevigatum</i> (Willd.) DC.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	◎	-	◎	◎	◎
64	キク	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	◎	-	◎	◎	◎
65	キク	コトブキギク	<i>Tridax procumbens</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ	県内散在	畑地、果樹園、路傍、空き地、草地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、果樹園、路傍	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	草地、畑地、芝地、空き地、路傍	
-	○	○	-	-	○	-	ヨーロッパ (紀北地域中心)	県内全域	路傍、畑地、空き地	
-	-	-	○	◎	○	-	ヨーロッパ	県内各地	路傍、空き地	植栽されたものからの逸出も。
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ北部～西アジア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	北半球周極地方	県内散在	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
○	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	かつらぎ町	林縁、湿地	野生化した後、やや減少。
-	-	-	-	-	○	-	メキシコ	県内散在	路傍、空き地	
○	◎	◎	-	-	○	-	アフリカ(マダガスカル)	県内全域	路傍、空き地、造成地、法面、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ南部～アフリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	○	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、河川敷、土手、原野、休耕地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、河川敷、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	南アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	○	-	-	-	○	-	南アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、果樹園、草地、芝地、路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、空き地、水湿地、休耕地、河岸	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、水湿地、休耕地	
-	-	-	-	-	○	-	南アメリカ	日高川町	路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	市街地、路傍、空き地、果樹園	
◎	○	○	○	◎	○	-	ヨーロッパ	県内全域	市街地、路傍、空き地、畑地、草地、芝地、果樹園、川岸、山地	在来タンポポ群と雑種を形成する。
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、空き地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
66	キク	イヌカミツレ	<i>Tripleurospermum maritimum</i> (L.) Sch.Bip. subsp. <i>inodorum</i> (Moretti) Greuter		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
67	キク	ハネミギク	<i>Verbesina alternifolia</i> (L.) Britton ex Kearney		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
68	キク	イガオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> L. subsp. <i>italicum</i> (Moretti) Greuter		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
69	キク	オオオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> L. subsp. <i>orientale</i>		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	◎	-	◎	◎	◎
70	キク	トゲオナモミ	<i>Xanthium spinosum</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
71	キキョウ	ヒナキキョウソウ	<i>Triodanis biflora</i> (Ruiz et Pav.) Greene		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
72	キキョウ	キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i> (L.) Nieuwl.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
73	ウリ	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
74	オミナエシ	ノジシャ(ノヂシャ)	<i>Valerianella locusta</i> (L.) Latter		分布拡大~ まん延			○	-	-	○	○	○
75	アカネ	オオフトバムグラ	<i>Diodia teres</i> Walter		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	○
76	アカネ	メリケンムグラ	<i>Diodia virginiana</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
77	アカネ	ハナヤエムグラ	<i>Sherardia arvensis</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
78	オオバコ	ジギタリス	<i>Digitalis purpurea</i> L.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
79	オオバコ	ノゲオオバコ(アメリカオオバコ)	<i>Plantago aristata</i> Michx.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
80	オオバコ	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
81	オオバコ	ツボミオオバコ	<i>Plantago virginiana</i> L.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
82	キツネノマゴ	ヤナギバルイラソウ(ムラサキイセバナビ、ルエリア・フリトリアナ、リュエリア、メキシコベチュニア)	<i>Ruellia simplex</i> C.Wright		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
83	ゴマノハグサ	ウキアゼナ(バコパ・ロトンディフォリア、カラカワクサ)	<i>Bacopa rotundifolia</i> (Michx.) Wettst.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
84	ゴマノハグサ	ツタバウンラン	<i>Cymbalaria muralis</i> Gaertn. Mey. et Scherb.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
85	ゴマノハグサ	ヒメアメリカアゼナ	<i>Lindernia anagallidea</i> (Michx.) Pennell		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
86	ゴマノハグサ	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
87	ゴマノハグサ	マツバウンラン	<i>Nuttallanthus canadensis</i> (L.) D.A.Sutton		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
88	ゴマノハグサ	セイヨウヒキヨモギ	<i>Parentucellia viscosa</i> Caruel		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
89	ゴマノハグサ	ヒロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ	県内散在	空き地、林縁、草地	
-	○	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	◎	-	◎	○	-	メキシコ	県内全域	畑地、路傍、空き地	
-	○	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地、芝地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地、芝地	
-	○	◎	◎	◎	○	-	北アメリカ	紀北地域を中心として紀南地域散在	空き地、果樹園、河川敷	本種が混入した堆肥配布により拡散したといわれる。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、堤防、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	紀北地域	路傍、河川敷、海岸	
-	-	○	-	○	○	-	北アメリカ	県内散在	畦畑、路傍	
-	-	○	-	○	○	-	ヨーロッパ	県内散在	畑地、路傍	
○	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ	田辺市(護摩壇山)	林道	護摩壇山森林公園内で生育が確認されており、県により駆除が行われた。
-	-	○	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	畑地、路傍、空き地	
-	-	◎	-	○	○	-	ヨーロッパ	紀北地域を中心として県内散在	畑地、果樹園、草地、芝地、路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	-	○	-	○	-	メキシコ	紀北地域	路傍、空き地	
-	-	○	○	-	○	-	北アメリカ	紀北地域	池沼、河川、水路、水田	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、市街地、河川敷	県内で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	畦畔、湿地、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	水田、河川敷、路傍、湖沼、湿地、干拓地	
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、人家周辺、芝地	
-	-	-	-	-	○	-	地中海沿岸	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、草地、路傍、空き地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
90	ゴマノハグサ	アレチモウズイカ	<i>Verbascum virgatum</i> Stokes		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
91	ゴマノハグサ	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	◎	-	◎	◎	◎
92	ゴマノハグサ	タチヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
93	ゴマノハグサ	フラサバソウ	<i>Veronica hederifolia</i> L.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
94	ゴマノハグサ	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i> Poiret		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
95	ナス	チョウセンアサガオ	<i>Datura metel</i> L.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	○	○	○
96	ナス	ヨウシュチョウセンアサガオ (シロバナチョウセンアサガオ)	<i>Datura stramonium</i> L.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	○	○	○
97	ナス	アメリカチョウセンアサガオ	<i>Datura wrightii</i> Regel		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	○	○	○
98	ナス	オオセンナリ	<i>Nicandra physalodes</i> (L.) Gaertn.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
99	ナス	ナガエノセンナリホオズキ	<i>Physalis acutifolia</i> (Miers) Sandw.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
100	ナス	センナリホオズキ	<i>Physalis angulata</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
101	ナス	ヒラナス	<i>Solanum aethiopicum</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
102	ナス	キンギンナスビ	<i>Solanum capsicoides</i> All.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
103	ナス	ワルナスビ	<i>Solanum carolinensis</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
104	ナス	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i> Dunal		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
105	シソ	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
106	シソ	オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
107	シソ	ヤブチョロギ	<i>Stachys arvensis</i> L.		分布拡大~ まん延			○	-	-	○	○	○
108	クマツヅラ	シチヘンゲ(ランタナ)	<i>Lantana camara</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
109	クマツヅラ	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i> L.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	◎	◎	◎
110	クマツヅラ	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i> Vell.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
111	クマツヅラ	ヒメクマツヅラ	<i>Verbena litoralis</i> Kunth		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
112	クマツヅラ	シュツコンパーベナ	<i>Verbena rigida</i> Spreng.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
113	ムラサキ	ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○



重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ～アジア北部	紀北地域	湿地、河川、水田、水路	在来種カワヂシャと雑種を形成する。
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、畑地、牧草地、空き地、芝地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、畑地、空き地	紀北地域で分布を拡大している。
-	-	○	-	-	○	-	西アジア	県内全域	畑地、果樹園、草地、路傍、空き地	
-	◎	◎	○	◎	○	-	熱帯アメリカ	紀北地域	畑地、路傍、空き地	
-	○	○	○	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	畑地、果樹園、草地、芝地、路傍、空き地	
-	○	○	○	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地、果樹園	
-	-	-	○	-	○	-	南アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	アフリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	○	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	畑地、果樹園、草地、空き地、路傍、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、果樹園、荒地、路傍、林縁、河岸	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、市街地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地、畑地	県内で分布を拡大している。
-	-	◎	○	-	○	-	北アメリカ南部～熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地	補栽されたものからの逸出とみられる。
-	-	-	-	○	○	-	南アメリカ	県内全域	市街地、造成地、河川敷、湿地	
-	-	-	○	◎	○	-	南アメリカ	県内全域	路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	○	-	○	-	南アメリカ	県内散在	路傍、空き地、市街地	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、湿地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
114	ヒルガオ	セイヨウヒルガオ	<i>Calystegia arvensis</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
115	ヒルガオ	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i> Yuncker		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	◎	◎	◎
116	ヒルガオ	マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
117	ヒルガオ	アメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq. var. <i>hederacea</i>	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	○	-	◎	◎	◎
118	ヒルガオ	マルバアメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq. var. <i>integriuscula</i> A.Gray	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	○	-	◎	◎	◎
119	ヒルガオ	マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
120	ヒルガオ	ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i> L.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
121	ヒルガオ	ハリアサガオ	<i>Ipomoea turbinata</i> Lag.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
122	ヒルガオ	オキナアサガオ	<i>Jacquemontia tamnifolia</i> Griseb.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
123	ヒルガオ	ツタノハヒルガオ	<i>Merremia hederacea</i> (Burm.f.) Hallier f.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	-	-	-
124	ガガイモ	トウワタ	<i>Asclepias curassavica</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
125	キョウチクトウ	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
126	フジツツギ	フサフジツツギ(ニシキフジ ツツギ、チチフフジツツギ、 ブッドレア)	<i>Buddleja davidii</i> Franch.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	○	-	◎	◎	○
127	モクセイ	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
128	リンドウ	ベニバナセンブリ	<i>Centaurium erythraea</i> Raf.		分布拡大～ まん延			-	-	-	◎	◎	◎
129	リンドウ	ハナハマセンブリ	<i>Centaurium tenuiflorum</i> (Hoffmanns. et Link) Fritsch		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
130	セリ	マツバゼリ	<i>Cyclospermum leptophyllum</i> (Pers.) Sprague ex Britton et P.Wilson		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
131	セリ	ノランニンジン	<i>Daucus carota</i> L. subsp. <i>carota</i>		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
132	セリ	ウチワゼニクサ(タテバチド メグサ)	<i>Hydrocotyle verticillata</i> Thunb. var. <i>triradiata</i> (A.Rich.) Fernald	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
133	ウコギ	カミヤツデ(ツウソウ(通 草)、ツウダツボク(通脱 木))	<i>Tetrapanax papyrifer</i> (Hook.) K.Koch	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
134	アリノトウグサ	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i> (Vell.) Veldc.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
135	アカバナ	アメリカミズキンバイ(ヒレタ ゴボウ)	<i>Ludwigia decurrens</i> Walter.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
136	アカバナ	オオバナミズキンバイ	<i>Ludwigia grandiflora</i> (Michx.) Greuter et Burdet subsp. <i>grandiflora</i>	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
137	アカバナ	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	◎	○	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、果樹園、草地、路傍、空き地	
-	-	-	-	◎	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地、河原、海浜、栽培植物上	寄生植物
-	-	○	○	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、草地、路傍、空き地	
○	-	◎	○	◎	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、空き地	在来種ノアサガオと競合する可能性が危惧される。
○	-	◎	○	◎	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、空き地	在来種ノアサガオと競合する可能性が危惧される。
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内各地	路傍、空き地、畑地	県内各地で分布を拡大している。
-	-	◎	-	◎	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、畑地、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アジア	県内散在	路傍、畑地、空き地	一時的な発生。冬季の低温のため越冬はできないようである。
-	-	-	◎	-	○	-	熱帯アメリカ	県内各地	路傍、空き地	
-	-	-	◎	-	○	-	南ヨーロッパ	紀北地域	林縁	植栽されたものからの逸出も。
-	-	-	○	○	○	-	中国西部	和歌山市、海南市	空き地	栽培されたものからの逸出も。県内の採集記録は少ない。
-	-	-	◎	-	○	-	中国中南部	県内各地	空き地、河川敷、二次林	植栽されたものからの逸出も。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内各地	路傍、空き地、河川敷	県内各地で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	地中海沿岸	県内散在	路傍、空き地、市街地	
-	-	◎	-	○	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地、果樹園	
-	-	○	-	○	○	-	ヨーロッパ	紀北地域を中心として県内散在	路傍、空き地、河川敷	特に紀北地域に多い。
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ	海南市	ため池、水路、水田、湿地	観賞用に栽培されたものがピオトープに導入されている。
-	-	-	○	-	○	-	中国南部、台湾	紀北地域、紀南地域	海岸	
-	-	○	-	-	○	-	南アメリカ	県内各地	湖沼、ため池、河川、水路	
-	-	◎	-	-	○	-	アメリカ合衆国東南部～アルゼンチン北部	県内散在	河川、水路、水田	
-	-	◎	-	○	○	-	北アメリカ南部～南アメリカ	日高川町	沼沢、湿地、ため池、湖沼、水路、河川	2005年に日高川町で発見された。ピオトープ整備時に導入されたと思われる。
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ(合衆国中部～大西洋岸)	県内全域	畑地、草地、果樹園、路傍、河川敷、空き地	アレチマツヨイグサ <i>O. parviflora</i> と区別しないで扱った。

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
138	アカバナ	オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i> Micheli		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
139	アカバナ	オニマツヨイグサ	<i>Oenothera jamesii</i> Torr. et A.Gray		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
140	アカバナ	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i> Hill	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	-	◎	◎	◎	◎
141	アカバナ	ヒナマツヨイグサ	<i>Oenothera perennis</i> L. var. <i>perennis</i>		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
142	アカバナ	ユウゲシヨウ	<i>Oenothera rosea</i> L'Hér. ex Aiton		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
143	アカバナ	ヒルザキツキミソウ	<i>Oenothera speciosa</i> Nutt. var. <i>speciosa</i>		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
144	アカバナ	マツヨイグサ	<i>Oenothera stricta</i> Ledeb. ex Link		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
145	ミソハギ	ホソバヒメミソハギ	<i>Ammannia coccinea</i> Rottb.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
146	オトギリソ ウ	セイヨウオトギリ	<i>Hypericum perforatum</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
147	マタタビ	キウイフルーツ(シナサルナ シ)	<i>Actinidia chinensis</i> Planch. var. <i>deliciosa</i> (A.Cheval.) A.Cheval.	産業利用 外来種	分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
148	アオイ	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i> (L.) Medic.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
149	アオイ	ナガミツナソ(モロヘイヤ、タ イワンツナソ)	<i>Corchorus olitorius</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	◎	◎
150	アオイ	ギンセンカ	<i>Hibiscus trionum</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
151	アオイ	ゼニアオイ	<i>Malva neglecta</i> Wallr.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
152	アオイ	ウサギアオイ	<i>Malva parviflora</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
153	アオイ	エノキアオイ	<i>Malvastrum</i> <i>coromandelianum</i> (L.) Garcke		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
154	アオイ	アメリカキンゴジカ	<i>Sida spinosa</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
155	トウダイグ サ	シマニシキソウ	<i>Euphorbia hirta</i> L. var. <i>hirta</i>		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	◎	◎
156	トウダイグ サ	コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i> (L.) Small		分布拡大~ まん延			-	-	-	◎	◎	◎
157	トウダイグ サ	オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i> (Lag.) Small		分布拡大~ まん延			-	-	-	◎	◎	◎
158	トウダイグ サ	ハイニシキソウ	<i>Euphorbia prostrata</i> (Aiton) Small		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
159	トウダイグ サ	キダチコミカンソウ	<i>Phyllanthus amarus</i> Schumach. et Thonn.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
160	トウダイグ サ	ナガエコミカンソウ	<i>Phyllanthus tenellus</i> Roxb.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
161	トウダイグ サ	ナンキンハゼ	<i>Triadica sebifera</i> (L.) Small	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地、河川敷	近年大幅に個体数が減少している。
-	-	-	-	-	○	-	アメリカ合衆国中南部～メキシコ	県内散在	路傍、空き地、河川敷	近年大幅に個体数が減少している。
○	-	-	-	-	○	-	北アメリカ東部	県内全域	路傍、空き地、市街地、畑地、海岸、河原	
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ東北部	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ	県内各地	市街地、路傍、堤防	園芸からの逸出によって急速に分布を拡げている。
-	-	-	○	-	○	-	アメリカ合衆国中部～東南部	県内全域	路傍、空き地、市街地	園芸からの逸出によって急速に分布を拡げている。
-	-	-	-	-	○	-	南アメリカ(チリ、アルゼンチン)	県内各地	路傍、空き地、河川堤	近年個体数が減少している。
-	-	○	-	○	○	-	北アメリカ	県内全域	水田、休耕田、湿地、沼地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内各地	路傍、空き地	
○	-	-	◎	-	○	-	中国	紀北地域	路傍、林縁	栽培されたものからの野生化とみられる。
-	-	◎	◎	-	○	-	インド	県内散在	畑地、路傍、空き地、草地、果樹園	
-	-	-	◎	-	○	-	インド	県内散在	路傍、空き地	栽培からの逸出も。
-	-	-	○	-	○	-	地中海沿岸～中央アフリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ユーラシア	県内散在	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	-	◎	○	-	ヨーロッパ	県内散在	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、空き地	県内で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地	
-	-	-	-	-	○	-	カナダ南東部～キューバ、バハマ、ベリーズ	県内全域	畑地、芝地、果樹園、空き地、路傍、草地、河川敷	
-	-	◎	-	-	○	-	カナダ南東部～中央アメリカ	県内全域	路傍、畑地、空き地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	アメリカ合衆国中部～アルゼンチン北部	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	タンザニア、モザンビーク、マスカレーヌ諸島	県内各地	路傍、空き地	県内各地で分布を拡大している。
○	-	-	○	-	○	-	中国大陸中南部の暖帯～亜熱帯	紀北地域	路傍、空き地	植栽されたものからの逸出とみられる。

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
162	ニガキ	ニワウルシ(シンジュ)	<i>Ailanthus altissima</i> (Mill.) Swingle	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
163	アマ	キバナアマ	<i>Reinwardtia indica</i> Dumort.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
164	カタバミ	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i> Savigny		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	◎	◎
165	カタバミ	ハナカタバミ	<i>Oxalis bowieana</i> Lodd.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
166	カタバミ	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>corymbosa</i> (DC.) Lourteig		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
167	カタバミ	オツタチカタバミ	<i>Oxalis deillenii</i> Jacq.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
168	カタバミ	オオキバナカタバミ(キイロ ハナカタバミ)	<i>Oxalis pes-caprae</i> L.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
169	フウロソウ	ツノミオランダフウロ	<i>Erodium botrys</i> (Cav.) Bertol.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
170	フウロソウ	オランダフウロ	<i>Erodium cicutarium</i> (L.) L'Hér. var. <i>cicutarium</i>		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
171	フウロソウ	ジャコウオランダフウロ	<i>Erodium moschatum</i> (L.) L'Hér.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
172	フウロソウ	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
173	フウロソウ	ヤワゲフウロ	<i>Geranium molle</i> L.		分布拡大～ まん延			-	-	-	◎	◎	◎
174	フウロソウ	チゴフウロ	<i>Geranium pusillum</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
175	マメ	アメリカクサネム(エダウチク サネム)	<i>Aeschynomene americana</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
176	マメ	イタチハギ(クロバナエン ジュ)	<i>Amorpha fruticosa</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
177	マメ	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i> (L.) DC.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
178	マメ	カラメドハギ	<i>Lathyrus inschanica</i> (Maxim.) Schindl.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
179	マメ	モンツキウマゴヤシ	<i>Medicago arabica</i> (L.) Huds.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
180	マメ	コメツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i> L. var. <i>lupulina</i>		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
181	マメ	コウマゴヤシ	<i>Medicago minima</i> (L.) Bartal.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
182	マメ	ウマゴヤシ	<i>Medicago polymorpha</i> L. var. <i>polymorpha</i>		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
183	マメ	ムラサキウマゴヤシ	<i>Medicago sativa</i> L. subsp. <i>sativa</i>		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
184	マメ	コシナガワハギ	<i>Melilotus indicus</i> (L.) All.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
185	マメ	シロバナシナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pall. subsp. <i>abus</i> (Medic) H. Ohashi et Tateishi		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	○	-	○	-	中国北～中部	県内全域	路傍、河川敷、空き地、林縁	養蚕の飼料として利用されていた。
-	-	-	◎	-	○	-	インド	県内散在	路傍、空き地	栽培からの逸出。
-	-	◎	-	-	○	-	南アメリカ	県内散在	路傍、空き地、畑地	
-	-	-	◎	-	○	-	南アフリカ	県内全域	路傍、空き地	栽培からの逸出もある。
-	-	◎	-	-	○	-	南アメリカ	県内全域	畑地、空地、果樹園、路傍、空き地、芝地	
-	-	◎	-	○	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地、河川敷、庭地	
-	-	-	○	-	○	-	南アフリカ	紀北地域	林縁、空き地	植栽されたものからの逸出とみられる。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ南部	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	ユーラシア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ南西部	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ及びアジア	県内各地	路傍、空き地、畑地、果樹園	県内各地で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	中央アメリカ～南アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
◎	-	◎	◎	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地	緑化等に使用されていた。
-	-	-	-	◎	○	-	北アメリカ東南部	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	朝鮮、中国	県内散在	路傍、空き地	
-	-	◎	-	○	○	-	ヨーロッパ、アフリカ、西アジア	県内各地	路傍、空き地、畑地、河川敷	県内各地で分布を拡大している。
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、畑地、草地、芝地、空き地、林縁、河岸、海岸、果樹園	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ、アフリカ、西アジア	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	○	○	○	○	-	ヨーロッパ南部～地中海地方	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	-	○	-	○	-	地中海地方～西アジア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	地中海沿岸、ヨーロッパ南西部	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	○	-	○	-	アフリカ、西～中央アジア	県内散在	路傍、空き地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
186	マメ	シナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pall. subsp. <i>suaveolens</i> (Ledeb.) H. Ohashi		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
187	マメ	ハリエンジュ(ニセアカシア)	<i>Robinia pseudoacacia</i> L.	産業利用 外来種	定着初期/ 限定分布		産業管理 外来種	◎	-	◎	◎	◎	◎
188	マメ	シャグマハギ	<i>Trifolium arvense</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
189	マメ	クスダマツメクサ	<i>Trifolium camperis</i> Schreb.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
190	マメ	コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i> Sibth.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
191	マメ	タチオランダゲンゲ	<i>Trifolium hybridum</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
192	マメ	ベニバナツメクサ	<i>Trifolium incarnatum</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
193	マメ	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	○	○	○
194	マメ	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
195	マメ	ジモグリツメクサ	<i>Trifolium subterraneum</i> L.		分布拡大~ まん延			-	-	-	○	○	○
196	マメ	ハリエニシダ	<i>Ulex europaeus</i> L.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
197	マメ	オオカラスノエンドウ	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>sativa</i>		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
198	マメ	ナヨクサフジ	<i>Vicia villosa</i> Roth subsp. <i>varia</i> (Host) Corb.	産業利用 外来種	分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	◎	◎	◎	◎
199	マメ	ピロードクサフジ	<i>Vicia villosa</i> Roth subsp. <i>villosa</i>	産業利用 外来種	定着初期/ 限定分布		産業管理 外来種	◎	-	◎	◎	◎	◎
200	バラ	ビワ(ヒワ)	<i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.	産業利用 外来種	分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	○	◎	◎
201	バラ	オオヘビイチゴ	<i>Potentilla recta</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
202	バラ	セイヨウヤブイチゴ	<i>Rubus armeniacus</i> Focke		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
203	アブラナ	ハルザキヤマガラシ(セイヨウ ウヤマガラシ)	<i>Barbarea vulgaris</i> R.Br.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
204	アブラナ	セイヨウカラシナ(カラシナ)	<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
205	アブラナ	ヒメアマナズナ	<i>Camelina microcarpa</i> Andr. et DC.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
206	アブラナ	コタネツケバナ	<i>Cardamine debilis</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
207	アブラナ	ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i> L.		分布拡大~ まん延			-	-	-	◎	◎	◎
208	アブラナ	ツノミナズナ	<i>Chorispora tenella</i> (Pall.) DC.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
209	アブラナ	キレハマメゲンバイナズナ	<i>Lepidium bonariense</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○



重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	ユーラシア	県内散在	路傍、空き地、河川敷	
○	○	○	◎	-	○	-	北アメリカ	県内各地	林縁	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ、アフリカ、西アジア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ、アフリカ、西アジア	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ～西アジア	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ、アフリカ、西アジア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	○	-	○	-	ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア	県内散在	路傍、空き地、畑地	
-	-	○	○	-	○	-	ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	◎	○	-	○	-	ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア	県内全域	路傍、空き地、畑地、草地、果樹園	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ、アフリカ、西アジア	県内散在	路傍、空き地	
○	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	草地、低木林、果樹園、海岸、空き地、水路、湿地	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ、アフリカ、西アジア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	◎	-	○	-	ヨーロッパ、西アジア	県内全域	路傍、畑地、果樹園、空き地、河川敷	
-	-	○	◎	-	○	-	ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア	県内散在	路傍、空き地、畑地、果樹園	
-	-	-	◎	-	○	-	中国四川省、湖北省	県内各地	暖地の石灰岩地	
-	-	-	◎	-	○	-	南ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	◎	-	○	-	アルメニア	県内散在	路傍、空き地	栽培からの逸出。
-	-	-	-	◎	○	-	原産地不明	紀北地域	林道沿い	
-	○	○	◎	-	○	-	西アジア	紀北地域	河川敷、堤防、路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内各地	路傍、空き地、畑地	県内各地で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	西アジア	県内散在	路傍、空き地、畑地	
-	-	-	-	-	○	-	南アメリカ	県内散在	路傍、空き地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
210	アブラナ	ウロコナズナ	<i>Lepidium campestre</i> (L.) R.Br.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
211	アブラナ	カラクサガラシ(カラクサナズナ)	<i>Lepidium didymum</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
212	アブラナ	ベンケイナズナ	<i>Lepidium latifolium</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
213	アブラナ	コシミノナズナ	<i>Lepidium perfoliatum</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
214	アブラナ	コバノコショウソウ	<i>Lepidium ruderales</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
215	アブラナ	マメゲンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
216	アブラナ	オランダガラシ(クレソン)	<i>Nasturtium officinale</i> R.Br.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
217	アブラナ	ショカツサイ(ハナダイコン)	<i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O.E.Schulz var. <i>violaceus</i>		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
218	アブラナ	セイヨウノダイコン	<i>Raphanus raphanistrum</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
219	アブラナ	ホソエガラシ	<i>Sisymbrium irio</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
220	アブラナ	カキネガラシ(ケカキネガラシ)	<i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
221	アブラナ	イヌカキネガラシ	<i>Sisymbrium orientale</i> L.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
222	アブラナ	グンバイナズナ	<i>Thlaspi arvense</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
223	ケシ	アザミゲシ	<i>Argemone mexicana</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
224	ケシ	カラクサケマン	<i>Fumaria officinalis</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
225	ケシ	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i> L.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
226	ケシ	アツミゲシ	<i>Papaver somniferum</i> L. subsp. <i>setigerum</i> (DC.) Arcang.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	-	-	○	○	◎
227	クスノキ	テンダイウヤク	<i>Lindera aggrgata</i> (Sims) Kosterm.	産業利用 外来種	定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	◎	◎
228	クスノキ	アオモジ	<i>Litsea cubeba</i> (Lour.) Pers.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	◎	◎
229	キンポウゲ	トゲミノキツネノボタン	<i>Ranunculus muricatus</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	◎	◎
230	ナデシコ	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
231	ナデシコ	ノハラナデシコ	<i>Dianthus armeria</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
232	ナデシコ	イヌコモチナデシコ	<i>Petrorhagia nanteuillii</i> (Bumt.) P.W.Ball et Heywood		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
233	ナデシコ	イトツメクサ	<i>Sagina apetala</i> Ard.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	○	◎	-	-	○	-	南アメリカ又はユーラシア	県内各地	畑地、果樹園、草地、路傍、溝、空き地	県内各地で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ東部～西アジア	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	原産地不明	県内散在	路傍、空き地	
-	-	◎	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	◎	◎	-	○	-	ヨーロッパ、中央アジア	紀北地域	河川、溝、水路	紀美野町において栽培されている。
-	-	-	◎	-	○	-	中国	県内各地	路傍、堤防、山地、畑地、丘陵地、果樹園	栽培からの逸出が多い。
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ、北アフリカ、中近東	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ南部	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内各地	路傍、空き地、河川敷	県内各地で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	地中海沿岸	県内各地	路傍、空き地	県内各地で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	◎	-	○	-	熱帯アメリカ原産	県内散在	路傍、空き地	栽培からの逸出も。
-	-	○	○	-	○	-	ヨーロッパ	紀北～紀南地域(海南市～白浜町)	路傍、空き地、畑地	
-	-	-	○	-	○	-	地中海沿岸	県内全域	畑地、草地、果樹園、路傍、空き地、山地近く	
-	◎	-	-	○	○	-	北アフリカ	紀北地域	路傍、空き地、河川敷	保健所により駆除が行われている。
○	-	-	◎	-	○	-	中国中南部、台湾	県内各地	二次林、植林地	栽培からの逸出も。
-	-	○	○	-	-	○	琉球、九州、山口、岡山	県内散在	二次林、空き地	新宮市木ノ川地域の他県内に散在。
-	-	-	◎	-	○	-	ヨーロッパ	紀北地域	路傍、空き地、林縁、河川敷	絶滅危惧種の生育地周辺で繁茂していることから駆除が行われた。
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、果樹園、草地、河川敷、路傍、空き地、水田	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ西部	紀北地域	路傍、空き地、河川敷	特に紀の川氾濫原に多い。
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、河川敷、芝地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
234	ナデシコ	アライトツメクサ	<i>Sagina procumbens</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
235	ナデシコ	ムシトリナデシコ(ハエトリナ デシコ、コマチソウ)	<i>Silene armeria</i> L.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
236	ナデシコ	マンテマ(マンテマン)	<i>Silene gallica</i> L. var. <i>quinquevulnera</i> (L.) W.D.J.Koch		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	○
237	ナデシコ	シロバナマンテマ	<i>Silene gallica</i> L. var. <i>gallica</i>		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
238	ナデシコ	オオツメクサ	<i>Spergula arvensis</i> L. var. <i>sativa</i> (Boenn.) Mert. et W.D.J.Koch		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
239	ナデシコ	イヌコハコベ	<i>Stellaria pallida</i> (Dumort.) Crep.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
240	スベリヒユ	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
241	スベリヒユ	ハゼラン	<i>Talinum paniculatum</i> (Jacq.) Gaertn.		分布拡大~ まん延			○	-	-	◎	◎	◎
242	ツルナ	クormaバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
243	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
244	オシロイバナ	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
245	ヒユ	ホソバツルノゲイトウ	<i>Alternanthera denticulata</i> R.Br.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
246	ヒユ	ツルノゲイトウ	<i>Alternanthera sessilis</i> (L.) R.Br. ex DC.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
247	ヒユ	ハイビユ	<i>Amaranthus deflexus</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
248	ヒユ	ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
249	ヒユ	オオホナガアオゲイトウ	<i>Amaranthus palmeri</i> S.Watson		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
250	ヒユ	アオゲイトウ	<i>Amaranthus retroflexus</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
251	ヒユ	ハリビユ	<i>Amaranthus spinosus</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
252	ヒユ	ホナガイヌビユ(アオビユ)	<i>Amaranthus viridis</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
253	ヒユ	ノゲイトウ	<i>Celosia argentea</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
254	アカザ	ホコガタアカザ	<i>Atriplex prostrata</i> Boucher ex DC.		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	○
255	アカザ	アカザ	<i>Chenopodium album</i> L. var. <i>centrorubrum</i> Makino		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
256	アカザ	ウラジオアカザ	<i>Chenopodium glaucum</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
257	アカザ	アメリカアリタソウ	<i>Deeringia anthelmintica</i> (L.) A.Gray		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ、北アメリカ、オーストラリア	紀北地域	路傍、空き地などの湿性環境	
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	河川敷、空き地、路傍	栽培からの逸出も。
-	-	-	○	-	○	-	ヨーロッパ	紀北地域	路傍、空き地、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ中南部	県内全域	路傍、空き地、河川敷、果樹園	
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園	
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、畑地、果樹園	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	◎	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地、市街地	栽培からの逸出も多い。
-	-	○	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園	
◎	○	◎	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、草地、林縁	
-	-	◎	◎	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	畑地、空き地、路傍、河川敷	栽培からの逸出も。
-	-	-	-	-	○	-	オーストラリア	県内全域	路傍、空き地、田の畦、河川敷	
-	-	◎	-	-	○	-	南アメリカ(?)	県内全域	路傍、空き地、水田、休耕田、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	原産地不明	県内散在	路傍、空き地	
-	-	◎	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地、畑地、果樹園、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	◎	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、果樹園、草地、路傍、空き地	
-	○	◎	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内各地	畑地、空き地、路傍、果樹園、草地	
-	-	◎	-	-	○	-	南アメリカ	県内全域	路傍、空き地、果樹園、畑地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	河川敷、路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	紀北地域	空き地、路傍	
-	-	○	◎	-	○	-	中国	県内散在	空き地、路傍、畑地	個体数の減少が著しい。
-	-	-	-	-	○	-	ユーラシア	県内散在	空き地、路傍、沿海地、河口付近	
-	○	◎	-	-	○	-	北アメリカ(?)	県内散在	路傍、空き地、河川敷	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
258	アカザ	ケアリタソウ	<i>Deeringia chilensis</i> (Schrad.) Mosyakim et Clements		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
259	アカザ	ゴウシュウアリタソウ	<i>Dysphania pumilio</i> (R.Br.) Mosyakim et Clements		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
260	タデ	シヤクチリソバ(シュツコンソバ、ヒマラヤソバ)	<i>Fagopyrum dibotrys</i> (D.Don) H.Hara		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
261	タデ	ソバカズラ	<i>Fallopia convolvulus</i> (L.) A. Löve		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
262	タデ	ツルドクダミ(カシュウ、何首 烏)	<i>Fallopia multiflora</i> (Thunb.) Haraldson		定着初期/ 限定分布		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
263	タデ	ヒメツルソバ(カンイタドリ)	<i>Persicaria capitata</i> (Buch.- Ham. ex D.Don) H.Gross		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
264	タデ	オオケタデ	<i>Persicaria orientalis</i> (L.) Spach		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
265	タデ	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> L.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
266	タデ	カギミギシギシ	<i>Rumex brownii</i> Campd.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
267	タデ	アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i> Murray		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
268	タデ	ナガバギシギシ(チジスイバ)	<i>Rumex crispus</i> L.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	◎	-	◎	◎	◎
269	タデ	エゾノギシギシ(ヒロハギシ ギシ)	<i>Rumex obtusifolius</i> L.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	◎	-	◎	◎	◎
270	イラクサ	コゴメミズ(コメバコケミズ、 ビレア・ミクロフィラ)	<i>Pilea microphylla</i> (L.) Liebm.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
271	アヤメ	チリアヤメ	<i>Alophia amoena</i> (Griseb.) Kuntze		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	◎	○
272	アヤメ	ヒメヒオウギズイセン(ヒメヒ オオギズイセン、モントブレ レア)	<i>Crococsmia x crocosmiiflora</i> (Lemoine) N.E.Br.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
273	アヤメ	キシヨウブ	<i>Iris pseudacorus</i> L.	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	○	-	◎	◎	◎
274	アヤメ	アイヒロニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium angustifolium</i> Mill.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
275	アヤメ	キバナニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium exile</i> E.P.Bicknell		定着初期/ 限定分布			◎	○	-	○	○	○
276	アヤメ	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i> E.P.Bicknell		分布拡大～ まん延			◎	○	-	◎	◎	◎
277	ユリ	シンテツポウユリ(新鉄砲ユ リ、タカサゴユリ)	<i>Lilium x formologi</i>		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	○	◎	-	◎	◎	◎
278	ユリ	ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i> (Dryand.) Stearn		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
279	イグサ	オテダマゼキショウ	<i>Juncus torreyi</i> Coville		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
280	ミズアオイ	ホテイアオイ(ウォーターヒ ヤシンス)	<i>Eichhornia crassipes</i> (Mart.) Solms	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
281	ツユクサ	ノハカタカラクサ(トキワツユ クサ、トラデスカンティア・フ ルミネシンス)	<i>Tradescantia flumiensis</i> Vell.	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	◎	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	路傍、空き地、河川敷、畑地	
-	○	◎	-	-	○	-	オーストラリア	県内散在	空き地、路傍、畑地	
-	-	-	○	-	○	-	ヒマラヤ、中国南西部	紀北地域	林縁、空き地、路傍	近年の標本記録がない。
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ～西アジア	県内散在	路傍、空き地、畑地	
-	-	-	○	-	○	-	台湾	紀北地域	路傍、石垣	
-	-	-	○	-	○	-	中国南部～ヒマラヤ	県内全域	路傍、石垣	掲載されたものからの逸出とみられる。
-	○	○	-	-	○	-	東～南アジア	県内全域	路傍、空き地、河川敷	
-	○	◎	-	◎	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	オーストラリア	県内散在	路傍、空き地、河川敷	
-	-	◎	-	○	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地、畑地、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	ユーラシア	県内全域	畑地、路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	紀北地域	畑地、路傍、空き地	
-	-	-	○	○	○	-	南アメリカ	紀北地域	石垣、路傍	
-	-	○	○	-	○	-	南アメリカ	紀北地域	空き地・芝生	
-	-	-	○	-	○	-	南アフリカ	県内全域	墓地周辺、林縁、海岸	
-	-	○	◎	-	○	-	ヨーロッパ～西アジア	県内全域	湖沼、ため池、河川、水路、水田	
-	-	-	-	-	○	-	原産地不明	県内散在	路傍、空き地、芝地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地、芝地	
-	-	◎	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、果樹園、畑地、芝地、河川敷	
-	-	-	○	-	○	-	交雑種由来	県内全域	路傍、法面	従来タカサゴリと呼ばれているものの中に交雑種由来のものが含まれると考えられる。
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内各地	路傍、植え込み、畑地	県内各地で分布を拡大している。
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	湿地、休耕田	
-	-	○	◎	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	湖沼、ため池、河川、水路	
○	-	-	○	-	○	-	南アメリカ	県内全域	路傍、林縁	新宮市高野坂において駆除活動が行われた。

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
282	ウキクサ	ミジンコウキクサ	<i>Wolffia globosa</i> (Roxb.) Hartog et Plas		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
283	サトイモ	ボタンウキクサ	<i>Pistia stratiotes</i> L.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
284	カヤツリグ サ	シュロガヤツリ(カラカサガ ヤツリ)	<i>Cyperus alternifolius</i> L. subsp. <i>flabelliformis</i> Kük.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
285	カヤツリグ サ	メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i> Lam.	重点啓発 外来種	分布拡大～ まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
286	カヤツリグ サ	キンガヤツリ	<i>Cyperus odoratus</i> L.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
287	イネ	コヌカグサ(レッドトップ)	<i>Agrostis gigantea</i> Roth		分布拡大～ まん延		産業管理 外来種	◎	◎	○	◎	◎	◎
288	イネ	クロコヌカグサ	<i>Agrostis nigra</i> With.		分布拡大～ まん延		産業管理 外来種	◎	◎	○	◎	◎	◎
289	イネ	ハナヌカススキ	<i>Aira elegantissima</i> Schur subsp. <i>elegantissima</i>		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
290	イネ	オオスズメノテッポウ	<i>Alopecurus pratensis</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
291	イネ	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i> L.		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
292	イネ	ヒメハルガヤ	<i>Anthoxanthum aristatum</i> Boiss.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
293	イネ	ハルガヤ(スイートバーナル グラス)	<i>Anthoxanthum odoratum</i> L. subsp. <i>odoratum</i>		分布拡大～ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
294	イネ	オオカニツリ	<i>Arrhenatherum elatius</i> (L.) Presl. var. <i>elatius</i>		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
295	イネ	カラスムギ	<i>Avena fatua</i> L. var. <i>fatua</i>		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
296	イネ	マカラスムギ	<i>Avena sativa</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
297	イネ	コバンソウ	<i>Briza maxima</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
298	イネ	ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i> L.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
299	イネ	ヤクナガイヌムギ	<i>Bromus carinatus</i> Hook. et Arn.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
300	イネ	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i> Vahl.		分布拡大～ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
301	イネ	ムクゲチャヒキ	<i>Bromus commutatus</i> Schrad.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
302	イネ	ヒゲナガスズメノチャヒキ	<i>Bromus diandrus</i> Roth.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
303	イネ	ハマチャヒキ	<i>Bromus hordeaceus</i> L. subsp. <i>hordeaceus</i>		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
304	イネ	ハトノチャヒキ	<i>Bromus hordeaceus</i> L. subsp. <i>molliformis</i> (Lloyd) Maire et A.Weiller		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
305	イネ	ウマノチャヒキ	<i>Bromus tectorum</i> L. var. <i>tectorum</i>		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○



重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	○	-	-	○	-	アフリカ東部、インド、東南アジア	紀北地域	水田、溝、池沼	
-	-	○	-	-	○	-	南アフリカ	和歌山市	沼沢、湿地、ため池、湖沼、水路、河川	紀の川での野生化を確認した際に駆除を行った。その後、現地周辺で生育を観察していない。
-	-	○	○	-	○	-	マダガスカル	県内各地	池沼、河川、湿地	近年の標本記録がない。
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内全域	河川、畑地、溝、湿地	
-	-	-	-	-	○	-	世界の熱帯～亜熱帯	県内散在	路傍、空き地、畑地	
-	○	○	◎	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、路傍	
-	○	○	◎	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、路傍	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地、畑地、河川敷	
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ～西アジア	県内全域	路傍、空き地、畑地、水田、溝	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、畑地	
-	○	-	◎	-	○	-	ユーラシア	紀北地域	路傍、空き地	
-	-	○	○	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	畑地、休耕地、草地、河川敷、路傍、空き地	
-	-	-	◎	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、畑地、果樹園	
-	-	◎	-	-	○	-	地中海地方	県内全域	沿海地の畑地、路傍、空き地、草地、庭	
-	-	◎	-	-	○	-	地中海地方	県内全域	路傍、空き地、畑地、河川敷	
-	-	◎	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	◎	-	-	○	-	南アメリカ	県内全域	荒地、草地、路傍、河川敷、海岸	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	ユーラシア	県内散在	路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	-	-	○	-	南ヨーロッパ	紀北地域	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	路傍、空き地	

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競合	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
306	イネ	クリノイガ	<i>Cenchrus brownii</i> Roem. et Schult		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
307	イネ	オヒゲシバ	<i>Chloris virgata</i> Swartz.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
308	イネ	カモガヤ(オーチャードグラス)	<i>Dactylis glomerata</i> L.		分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
309	イネ	タツノツメガヤ	<i>Dactyloctenium aegyptium</i> (L.) P.Beauv.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
310	イネ	ハキダメガヤ	<i>Dinebra retrofresa</i> (Forssk. ex Vahl.) Panz.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
311	イネ	シナダレスズメガヤ(ウイーピングラブグラス、セイタカカゼクサ)	<i>Eragrostis curvula</i> (Schrad.) Nees	重点啓発 外来種	分布拡大~ まん延		重点対策 外来種	◎	-	◎	◎	◎	◎
312	イネ	コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i> Host.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
313	イネ	シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
314	イネ	ムギクサ	<i>Hordeum murinum</i> L. subsp. <i>murinum</i>		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
315	イネ	ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i> Lam.		分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
316	イネ	ホソムギ	<i>Lolium perenne</i> L.		分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
317	イネ	ボウムギ	<i>Lolium rigidum</i> Gaudin		分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
318	イネ	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
319	イネ	ギネアキビ(ギニアグラス、ギニアキビ、イヌキビ)	<i>Panicum maximum</i> Jacq.		定着初期/ 限定分布		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
320	イネ	シマズメノヒエ(ダリスグラス)	<i>Paspalum dilatatum</i> Poir.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
321	イネ	キシウスズメノヒエ(カリマタズメノヒエ)	<i>Paspalum distichum</i> L. var. <i>distichum</i>		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
322	イネ	チクゴズメノヒエ	<i>Paspalum distichum</i> L. var. <i>indutum</i> Shinnars		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
323	イネ	アメリカズメノヒエ	<i>Paspalum notatum</i> Flügge		分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
324	イネ	タチズメノヒエ(ベイジークラス)	<i>Paspalum urvillei</i> Steud.		分布拡大~ まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
325	イネ	カナリークサヨシ	<i>Phalaris canariensis</i> L.		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
326	イネ	オオアワガエリ(チモシー)	<i>Phleum pratense</i> L.		分布拡大~ まん延		産業管理 外来種	◎	○	-	◎	◎	○
327	イネ	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i> L. subsp. <i>pratensis</i> var. <i>pratensis</i>		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
328	イネ	オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i> L. subsp. <i>trivialis</i>		分布拡大~ まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
329	イネ	ヨシスキ(サッカラム パーブルビーブルグリーター)	<i>Saccharum arundinaceum</i> Retz.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	-	-	-	-	○	-	熱帯アメリカ	県内散在	路傍、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	北アメリカ	県内散在	路傍、空き地、畑地、河川敷	
-	○	○	◎	◎	○	-	地中海～西アジア	県内全域	畑地、路傍、空き地、河川敷、林縁	
-	-	-	-	-	○	-	アジア～アフリカ熱帯地域	県内散在	路傍、空き地、畑地	
-	-	-	-	-	○	-	アフリカ～インド	県内散在	路傍、空き地	
-	-	○	○	-	○	-	アフリカ南部	県内全域	路傍、空き地、河原	
-	-	○	-	-	○	-	ユーラシア	県内全域	路傍、空き地、畑地、芝地、果樹園	
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内全域	草地、芝地、路傍、林縁、空き地	
-	-	-	-	-	○	-	ヨーロッパ	県内散在	畑地、草地、空地、路傍、荒地	
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ～北西アフリカ	県内全域	畑地、果樹園、路傍、空地、河川敷、草地、荒地	
-	-	◎	-	-	○	-	ユーラシア	県内全域	路傍、空き地、畑地、河川敷	
-	-	○	-	-	○	-	地中海地方	県内全域	路傍、空き地、畑地	
-	-	○	◎	◎	○	-	北アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地、河川敷、湿地	
-	-	◎	◎	◎	○	-	東アフリカ熱帯	和歌山市	路傍、空き地、畑地、川岸	
-	-	○	◎	◎	○	-	南アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地	
-	-	◎	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	水田、溝、湿地、河川、水路、湖沼、ため池	
-	○	◎	-	-	○	-	北アメリカ南部	県内散在	水田、湿地、溝、ため池	
-	-	-	◎	-	○	-	南アメリカ	県内各地	畑地、路傍、空き地、河川敷	
-	-	◎	◎	-	○	-	南アメリカ	県内全域	畑地、路傍、空き地、河川敷	
-	-	-	○	-	○	-	カナリア諸島、北アフリカ、地中海沿岸	県内全域	路傍、空き地、堤防	
-	○	○	◎	-	○	-	ユーラシア	県内全域	畑地、路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ユーラシア	県内全域	路傍、空き地、芝地、草地、土手、荒地、河川敷	
-	-	◎	-	-	○	-	ヨーロッパ～西南アジア、北アフリカ	県内全域	堤防、空き地、畑地、河川敷	
-	-	-	○	◎	○	-	インド～東南アジア	紀北地域、紀南地域	路傍	高速道路路面に分布を上げつつある。

No	科名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物 法区分	国リスト区 分	評価					
		和名(別名)	学名					生態系被害			分布拡大		
								競争	交雑	改変	繁殖	気候	散布 または 永続
330	イネ	オニウシノケグサ(トールフェスク、ケンタッキー31フェスク)	<i>Schedonorus arundinaceus</i> (Schreb.) Dumort.		分布拡大～まん延		産業管理 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
331	イネ	ヒロハウシノケグサ	<i>Schedonorus pratensis</i> (Huds.) P.Beauv.		分布拡大～まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
332	イネ	ザラツキエノコログサ	<i>Setaria verticillata</i> (L.) P.Beauv.		分布拡大～まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
333	イネ	セイバンモロコシ(ジョンソングラス)	<i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers.		分布拡大～まん延		その他の 総合対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
334	イネ	イヌナギナタガヤ	<i>Vulpia bromoides</i> (L.) S.F.Gray		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
335	イネ	ナギナタガヤ(ネズミノシツポ)	<i>Vulpia myuros</i> (L.) C.C.Gmel. var. <i>myuros</i>		分布拡大～まん延		産業管理 外来種	◎	-	○	◎	◎	◎
336	イネ	ムラサキナギナタガヤ	<i>Vulpia octoflora</i> (Walt.) Rydb.		分布拡大～まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
337	トチカガミ	オオカナダモ(アナカリス)	<i>Egeria densa</i> Planch.	重点啓発 外来種	分布拡大～まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
338	トチカガミ	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i> (Planch.) St.John	重点啓発 外来種	分布拡大～まん延		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
339	トチカガミ	アマゾントチカガミ(アマゾンフロッグビット、リムノビウム・ラエビガータム)	<i>Limnobium laevigatum</i> (Humb. et Bonpl. ex Willd.) Heine	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
340	オモダカ	ミスヒナゲシ(ウオーターポピー)	<i>Hydrocleys nymphoides</i> (Willd.) Buchenau		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	◎	◎	◎
341	オモダカ	ナガバオモダカ(ジャイアントサジタリア)	<i>Sagittaria graminea</i> Michx.	重点啓発 外来種	定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	○
342	ヒカゲノカズラ	アスヒカズラ	<i>Lycopodium complanatum</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
343	イワヒバ	イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i> Hieron.		分布拡大～まん延			◎	-	-	◎	◎	◎
344	イワヒバ	コンテリクラマゴケ(レインボーファー)	<i>Selaginella uncinata</i> (Desv.) Spring		定着初期/ 限定分布		重点対策 外来種	◎	-	-	◎	◎	◎
345	ホウライシダ	ホウライシダ	<i>Adiantum capillus-veneris</i> L.		定着初期/ 限定分布			○	-	-	○	○	○
346	イノモトソウ	モエジマシダ	<i>Pteris vittata</i> L.		定着初期/ 限定分布			-	-	-	○	○	○
347	ヒメシダ	イヌケホシダ	<i>Thelypteris dentata</i> (Forssk.) E.P.St.Jhon		分布拡大～まん延			○	-	-	◎	◎	◎
348	サンショウモ	オオサンショウモ	<i>Salvinia molesta</i> D.S.Mitch.		定着初期/ 限定分布			◎	-	-	○	○	○
349	アカウキクサ	アゾラ・クリスタータ	<i>Azola cristata</i> Kaulf.	重点啓発 外来種	分布拡大～まん延	特定外来 生物	緊急対策 外来種	◎	◎	○	◎	◎	◎

重要地域	項目				由来		主な原産地	県内の分布	生育環境	備考
	社会被害		人間による拡散		国外	国内				
	人体	経済産業	利用	付着混入						
-	○	-	◎	-	○	-	ヨーロッパ、北 アフリカ、西ア ジア	県内全域	市街地、路傍、 空き地、河川 敷、林縁	
-	-	◎	◎	○	○	-	ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地、 畑地、河川敷	
-	-	◎	-	-	○	-	南ヨーロッパ	県内全域	路傍、空き地、 畑地、河川敷	
-	○	-	◎	-	○	-	地中海沿岸の アフリカ	県内全域	畑地、路傍、堤 防、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	ヨーロッパ～西 アジア、アフリカ の高地	県内散在	路傍、空き地、 畑地	
-	-	○	◎	-	○	-	ヨーロッパ～西 アジア	県内全域	畑地、果樹園、 路傍、空き地	
-	-	○	-	-	○	-	北アメリカ	県内全域	路傍、空き地、 畑地、芝地、河 川敷	
-	-	○	○	-	○	-	南アメリカ	県内全域	河川、水路、た め池	
-	-	○	○	◎	○	-	アメリカ北東部	県内全域	湖沼、河川、 池、溝、水路	
◎	-	-	○	-	○	-	熱帯アメリカ(ア ルゼンチン)	新宮市	湖沼、ため池、 河川	和歌山県新宮市の国指定天然記念物「浮島の森」で駆除活動が行われ た。
-	-	◎	◎	-	○	-	南アメリカ	有田市	湖沼、ため池、 水路、河川	水路を詰まらせる等の問題となり駆除が行われた。
-	-	-	○	-	○	-	北アメリカ	海南市	湖沼、ため池、 水路、河川	近年の標本記録がない。
-	-	-	-	-	○	○	北半球の温帯	岩出市	林縁、草地	栽培からの逸出か？
-	-	-	-	◎	○	○	八重山諸島、中 国、台湾、フィリ ピン	県内全域	路傍、空き地	園芸種に付随して持ち込まれた。
-	-	-	○	-	○	-	中国	紀南地域	路傍、林縁、果 樹園	
-	-	-	◎	-	○	○	千葉県以西～ 琉球、世界の暖 帯	紀北地域	林縁、溝	栽培からの逸出が多い。
-	-	-	-	◎	○	○	世界の熱帯	紀南地域(田辺 市、白浜町)	路傍、海岸、空 き地	
-	-	-	-	-	○	○	世界の熱帯	県内全域	路傍、空き地、 溝	
-	-	-	○	-	○	-	ブラジル南西部	田辺市	池、沼等止水域、 日当たりの良い 浅い水域	栽培からの逸出か？
-	○	○	-	◎	○	-	世界各地に分 布	県内全域	河川、ため池、 水田、水路	2003年ごろから県内各地で発見された。外部形態からの在来種、雑種と の判別が困難。